京城日報

廿四日夕刊

本紙定價 [illegible]
廣告料 [illegible]
發行兼編輯人 奥田直毅
印刷人 小川三之介
發行所 京城太平通一丁目 合資會社 京城日報社
電話 [illegible]

廿三日秘密會內容

二十三日衆議院秘密會の內容は固より報道の自由を許さゞるも主として外交に就きて論議せられたる由にて先づ本野外相より講和提議回答の件、東淸鐵道讓渡問題、日獨戰爭、對支外交の諸件に亙り詳細の說明あり而して講和提議回答に於ける植民地問題は他日提出の餘地存することゝ、東淸鐵道讓渡は露國外相更迭の爲改て交涉の要ありて目下交涉繼續中なることを述べ尾崎行雄氏主として質問を試みたりと云ふ(東京特電)

不信任案賛成者數

總計二百四十四の多數

二十三日憲政、國民兩黨及び公正會有志より提出したる現內閣不信任案賛成者は憲政會百九十八、國民黨二十八、公正會十五計二百四十一名にして此の他無所屬の川眞田德三郎、坂本金彌、金澤種次郎の三氏之に贊すべきを以て結局不信任案は總計二百四十四の多數を以て通過すべし(東京特電)

豫算總會猛烈

衆議院に於ては廿四日豫算總會を開きたるが質問應答猛烈を極む(東京電報)

公正會分裂か

公正會內の政府黨は政府反對黨と分裂するに至るべし(東京電報)

日支交涉公文書發表期

鄭家屯事件交涉公文書は二十七日發表の事に決せり傳ふる所に據れば其內容は左の五ヶ條より成れりと(東京電報)▲第二十八師長馮麟閣の懲戒▲事件關係士官以下の處罰▲南滿洲各地に告示を揭示し日支親善を阻害する暴擧防止の宣明▲慰謝料支出▲張作霖陳謝

獨逸の心底なりと

南米の一外交官は語る

倫敦來電に依れば、獨逸より歸國の途にある南米の一外交官は語りて曰く予は出發前獨逸の外相及び首相と會見したるが白耳義は之を返還し相當の賠償をなす意思なるが如し又佛國にしてアルサス、を飽迄要求するに於ても何とか妥協を遂げん意思なるが如く乃ち佛領印度支那と交換せんとするが如し(紐育電報)

日獨俘虜交換と獨紙

獨逸の新聞紙は日獨俘虜交換交涉結了し非戰鬪員歸還すべしと報せり(紐育電報)

總督邸晩餐會

長谷川總督は既記の如く二十四日午後六時三十分より憲兵隊長警務部長を官邸に招待晩餐の饗應あり總督府よりは內務司法部兩長官、官房局長、憲兵隊司令部警務總監部よりは古海總長以下高級副官各課長、軍よりは司令官參謀長師團よりは立花中將等列席す

大將以下參列

二十四日午後六時半より長谷川總督の招待に係る官邸晩餐會に列席の爲め龍山より秋山大將、立花中將、白水少將廣瀨經理部長等出京したり

憲警部長會同(最終日)

臨時憲兵隊長警務部長會同最終日たる第三日は二十四日午前九時三十分より總督府第二會議室に開催長谷川總督山縣政務總監以下各部長官房局長關係官署の長、課長等參列し午前は憲兵隊司令官警務總長古海中將の指示あり午後は會議を憲兵隊司令部に移し事務の打ち合せありて三時三十分散會したり

移民規則提出

東洋拓殖會社の移民規則改正案は二十三日總督府に提出正式に認可申請の手續を履行したり改正案の骨子は移民の保護法第一二兩種移民の招致法並に其の選擇法等の改善にあり其の內第二種即ち地主移民に對しては從來移住と同時に地代の半額を徵收せしむるの制を執りしも今回は之れを四分一の納付に止め且つ爾後の償還を容易ならしめ又た移住費は從來團體移民にのみ貸付の方途ありしも今回は之を擴張して個人にも貸付することゝなせり而して會社は二月一日より實施せんとの希望ある由なるも總督の決裁を經るまでには尙ほ多少の日時を要するなる可し

軍司令官張宴

陸軍大將秋山好古氏は既報の如く二十三日午後六時より龍山官邸にて目下會議の爲め入京中の各道憲兵隊長を招待晩餐會を催せしが陪賓として立花古海兩中將白水少將廣瀨主計監佐藤博士岡本大佐諸氏も列席主客三十四名席上秋山司令官の挨拶隈部憲兵大佐の謝辭ありたりと

古海中將招宴

憲兵司令官警務總長古海巖潮氏は會議列席の爲め入京中の各道憲兵隊長警務部長を二十五日午後六時より朝鮮ホテルに招待宴を張る由なるが軍司令部よりは白水參謀長列席の由

浦港一部解禁

在浦鹽斯德日本帝國總領事館告示第八十三號に依れば浦鹽斯德商港局長は今回左記の告示を爲せりとペトログラード海上運送協議會は露曆十一月十六日(日本曆二十九日)の會議に於て地方需要の爲めに充てられたる貨物は特に其の都度同協議會の許可を受くることなく浦鹽斯德に之を輸入すること差支なしと認め但し浦鹽斯德港務會議に於て其の局長は浦鹽斯德地方需要の上輸入せんとする貨物が地方需要の爲め必要なるとの證明を下付す、尤も該貨物は商港區域內の稅關商港其の他の倉庫に置くことなく商港外の個人倉庫に收容するを要す前記證明の下付を受けむとする者は商港局長に宛て左記各項を記載し收入印紙貼付の上願書を提出することを要す

一、貨物の詳細なる名稱
二、貨物の數量(布度)
三、何人に仕向られ及び何人が浦鹽斯德に於ける受取人なるか
四、如何なる目的に充てられたるか

尙ほ同時に沿黑龍江地方需要の爲め貨物輸入の必要なることの證據を提示す可し、且つ稅關檢查及び三日間に到著貨物を商港より搬出す可き誓約書を願書に添付す可し

鐵道滯貨復增

前週に比し一萬噸增

鐵道局調査二十三日朝現在に於ける沿線及び釜山の內地行き滯貨は舊正月前地方鮮人が年末決濟資金を要する爲め米豆を放賣せしもの多きと關釜間海上風波荒き爲め貨物輸送捗々しからざる爲め必らずしも內地相場の引立ちしに非ざるも其の仕向貨物は激增して結局三萬四千餘噸の多量に上り之れを一週間前の十六日朝に比すれば總計に於て九千百九十噸の增となり居れり例によりて其の種別及び數量を擧ぐれば左の如し

種別	本州行	下の關九州行
釜山滯貨	三、八五一	一、二〇二
出荷申込	二一、七九九	四、六一八
驛滯中	一、九一七	一、〇三六
合計	二七、五六七	六、八五六

滯貨の增加を方面別にすれば晒生以東本州行き六千餘噸九州及び下の關行き三千噸の增となり居れり

運輸業者總會

全鮮の運輸業者を以て組織せる朝鮮運輸聯合會にては二十四日午前十時より龍山八景園に於て役員會を開會し同日午後二時半より同所に於て開會の第十回定期總會に提出す可き議案の審査を行ひ會長大和與次郎氏其他出席協議を遂げ續て午後よりは前記の總會に移り大正五年度事業報告同決算報告幷に大正六年度收支豫算を議し役員選擧を行ふ所ありたるも詳細は追報すべし

燐寸會社と平壤

仁川有志より設立認可申請中なる朝鮮燐寸株式會社は遲くも本月中指令あるべき豫想なるが平壤出張中の發起人より大橋商議會頭宛にて株式の應募勸誘の照會あり且つ又希望者をも勸誘されたく申添へ來りしが同會社は資本金三十萬圓にて燐寸軸木は鴨綠江材を原料とする關係上より新義州に工場を、分工場を平壤大邱等に設くる計畫にて勿論本社は發起人の中心點なる仁川に置くべき計畫のところ元來燐寸製造會社の創立に就ては豫て鎭南浦の有志にも其計畫あり偶然兩地同時に一企業を見んとする結果終に昨今兩有志間に妥協合同說持上り圓滿なる解決を告ぐべく觀測されつゝあるが斯ては妥協合同の附產物として平壤豫定の分工場を鎭南浦に變更する事となるべく右の爲め最初平壤有志にして其事業を歡迎し株式應募の希望を有する向きも目下其進退趨舍に惑ひ居る模樣なり(平壤)

宮原中佐等の用向(平壤)

砲兵工廠支廠建設の要務を帶び入鮮平壤に來著せるやう各地新聞に喧傳せられし陸軍技術審査部員宮原工兵中佐以下の一行は其の視察用務大同江及び鴨綠江に於て半永久的架橋建設に用ゆる凍結地鑿孔器場試驗の爲めにて二十日より三十日迄平壤及び新義州附近にて實施するものに係り何等砲兵工廠新設に關係し居らず工廠事務は陸軍省軍務局幷に經理局等の所管に係り技術審査部は全く沒交涉なりと

製繩器の移入(平壤)

一月の輸移入貿易に於て新たに注目を惹けるは製繩器具の移入にして既に一日以來廿日間に三四回の著荷ありて且つ其個數も尠からざりしが荷受は何れも鮮人側、名古屋の仕出にて同地方の製作にかゝるものなるが這は一昨年の秋、京城に於ける朝鮮始政記念物產共進會に出陳し實地作業を試みて其效果的なるを示したる爲一般鮮民に著大なる感動を與へたるものゝ如く爾來各地方の注文夥しき由なるが多分平壤鮮人側の購入も是等の動機に因るなるべく而て右製繩器具移入の盛んとなるは主として鮮人農家副業の發展に起因するは云ふまでもなく喜ぶべき現象と云ふべし(平壤)

金塊移出增加趨勢

最近五個年間の平壤稅關取扱の金塊移出高を見るに大正元年三百五十九萬一千百四十五圓、二年二百九十七萬三千二百八十一圓、三年二百七十八萬六千四百四十七圓、四年三百十九萬二千九百九十五圓、五年三百九十一萬七千百圓にして年に消長あり即ち二、三年は三百萬圓に達せざれども四、五年は三百萬圓を突破し取分け昨五年は一躍殆んど四百萬圓に近く同年の貿易總額を凌駕せるは之れを既往四箇年の成績に顧みて實に其移出の旺盛振りに驚異せざるを得ざるべし(平壤)

小城技師の歸任

鐵道局建設課長小城齊氏は展墓の爲め二十四日午後八時四十分龍山發列車にて鹿兒島縣へ歸省せり

モーア氏來京

米國赤十字代表ホイツテイ、モーア氏は二十五日東京出發露國に於ける戰役避難民救護の爲め長春に向ふ由なるが二十七八日頃京城に下車一泊すべし

仁川

▲平山檢事著任 京城地方法院檢事平山正祥氏は仁川支廳に轉任を命ぜられ二十四日午前十時仁川驛著松元警察署長和田女學校長其他多數の出迎を受け著任したり ▲舊正と諸物價 舊正の爲め仁川奧地方面より物貨の廻著減少したるが就中穀の入津は仁川港內外大流氷以來より絕無にて從つて市場の取引殆んど行はれず薪炭類又入荷稀れにて仁川市中品拂底となり相場は依然として舊臘に比し三倍以上なりと ▲牛皮 大阪に於ける朝鮮產牛皮の商況を聞くに [illegible] 依然需用家は [illegible] 滿洲物は銀高の關係にて [illegible] も商談望み難く自然 [illegible] に注目するの餘儀なき狀態なれば此擬形は多買立つやに思惟する由相場は改良上八十二圓釜山大皮六十五圓大邱上六十五圓仁川上皮七十二圓なりと

新義州

▲爆破作業試驗 陸軍省に於ては新義州を中心とし附近各地に於て嚴寒時に於ける水陸の凍結爆破作業を試驗することゝなり同省技術審査部附工兵中佐宮原國雄氏の外飛鳥井大尉以下五十名數日前より來新其れ其れ準備中なりしが本二十三日は龍岩浦街道に當る三橋川渡船場附近に於て其第一回試驗をなし以來毎日場所を換へて其試驗を行ふ由なり因に現在出張員の外尙ほ一兩日中に大尉一名來新參加すると ▲製皮改良事業 平安北道管內は產牛地として有名なるにも係らず其製皮方法の宜しからざる爲め牛皮の聲價甚だ上らざるを遺憾とし道當局に於ても其改良方法に腐心中なりしが新義州多田商會主多田榮吉氏は愈々道廳保護の下に製皮改良事業を起すことゝなり先づ宜川及び新義州の兩地に於て試驗的に製皮所を設置し數日前より已に製皮を開始せり因に多田氏は同事業に關係ある官民の主なる人々を兩地に於て招待し披露を爲せるが氏は自己の事業に對する抱負を述べ且つ後援を希望せりと ▲繩叺改良獎勵 宜川郡廳に於ては客年來農家の副業として繩叺の製造を獎勵し其器械の給與を普くし專心其成績を擧んことに努力しつゝありしが當地多田商會に於ては其等農家の共同販賣にかゝる製品を一手に引き受け已に昨年中に於て其金額三千圓以上に達し本年は更に大に增加すべき見込にして同商會は大連其他滿洲方面に向て其販路を擴張する筈なり蓋し此副業によりて從來燃料とども用ひ居たる藁の有益に使用せらるゝに至り意外の收入を見るに及べるを喜べるの結果にして道廳及び郡廳當局の勸業上の一成功と言ふべきなり

元山

▲北鮮牛の移出延期 今一月中元山港を經由し決行すべかりし北鮮牛第三回目內地移出は一昨年さ昨年の移出に於て諸般の關係上大缺損を生じたる前例あるのみならず本年は金融緩和の結果昨今牛價の騰貴を來し到底收支相償はざるべく遂に當方移出を延期するに至れりと ▲北鮮碁會盛況 元山天狗俱樂部の發起に成れる北鮮圍碁大會は既報の如く元山大芳樓大廣間に於て行はれ來會者百數十名に達し頗る盛會二十二日決議の結果主なる入賞者は一等錦織、木田、中井の四名二等小笠原、樋口、張の三名なり ▲赤田川尻埋築 曩て當局者側にて計畫中なりし元山舊赤田川尻附近の埋築に就きては此程漸く其の設計略成り居れるを以て近く之れが豫算認可申請の運びに至るべしと ▲築港工事と舊正月 本月二十三日より舊正月に入り鮮人勞働者にして休業するもの多數なるより目下進捗中なる元山築港工事は向ふ五日間位は殆ど休止するの外なかるべしといふ ▲咸南在鄕軍人數 目下咸南居住の帝國在鄕軍人會員數は陸軍八百九名海軍十五名に達し內將校四十七准士官二十五下士一百六十七兵卒六百なり

大田

▲大田果樹組合 大田果樹栽培業者は同業者の改善發達を圖る目的を以て果樹組合の設立會を二月四日大田郡廳に開催する由既に規約も制定しありと ▲巡査補採用 既報大田警察署に於ては來る二月十日迄に巡査補採用試驗を行ふ由依て希望者は履歷書及び民籍謄本を同署に提出し置くべしと ▲面長會議 面長會議を大田郡廳に於て本月廿六廿七兩日開會して面事務に關し打合せをなす筈 ▲記念品贈呈 大田幼稚園保母は從來小學校長榎本氏夫人政子なりしが今度同氏退職により中島訓導夫人柳子就職せり前任政子は同園の開設以來功勞少なからざるため大田有志者間にては記念品を贈呈する由

群山

▲發起人總會 群山米穀取引所創立發起人總會は二十一日午後七時より取引所創立事務所に當てられたる群山米穀商組合事務所樓上に於て開催せられ委員より創立事務に著手して以來愈々本月十三日附取引所創立請願書を當局に提出せる迄の經過其他の報告ありて今後の創立準備方針其他の協議會に移り諸事議定する處ありたるが改めて創立委員として左の諸氏を選擧したり

大澤藤十郎、樋田義達、中柴萬吉、森菊五郎、橋山與市、阪上貞信、大平德三郎

▲後任警部來期 既報群山警察署司法主任警部原清治氏の全北警務部に轉任の後任として京城鍾路署警部今永政緒氏來任の事に決定し二十四五日頃著任すべしと

光州

▲大黑山島鯨豊漁 大黑山島に根據を有する日韓捕鯨會社は十二月上旬操業を開始し間もなく風雪の爲め操業不能となりしかば大いに悲觀され居たるに近來に至り漸く寒氣薄らぎ風雪止みたれば去る十一日操業を開始せしに十五日迄に引續き十頭の捕獲あり尙頗る豊富なる見込みにて從業員一同始めて愁眉を開けるが鯨は目下の價格一頭約三千圓を唱へ居れば會社の利益も亦莫大なるものなりと ▲本道棉出廻高 十二月末迄に棉花の賣買されたるもの九百六十五萬八千斤にして昨年同期の千四百十五萬三千斤に比して約四百四十九萬四千斤の減少なるも價格に於ては昨年の百卅五萬二千圓を超す事十三萬一千圓即ち百四十八萬四千圓に達したるが之は要するに本年棉花高騰の影響にして今後尙ほ多少の昇騰を見るべく生產者の懷合は頗る良好なり ▲本道地方費豫算 本年本道の地方費豫算は目下編成中にして約四十萬圓に上る見込みなりと ▲道各署隊聯合大搜査 本道警務部にては廿一日より二十三日午前七時迄道內各警察署憲兵分隊聯合の大搜査を行ひ浮浪者或は犯罪者の檢擧に勤むべく命令したるが結果は更に報道する所あるべし ▲兎狩の壯擧 光州に於ける道廳、郡廳、慈惠醫院の健兒百數十名聯合して二十一日石谷面なる無等山麓にて兎狩を催したるが酷寒中にも不拘何れも士氣旺盛にして頗る盛んなりき ▲かるた大會 二十八日光州日報主催となり當地に於て全南かるた大會を催すべしと

奉天より

▲米國實業團の著期 二十五日エンプレス、オブ、ロシア號に搭乘晩香坡を發して日支兩國視察の途に上るべき米國實業團は二月十二日午前十一時三十五分天津を出發し十三日午後七時七分奉天に著しヤマトホテルに投宿し十四日奉天城內外を視察し十五日午前九時四十分奉天發京城に直行すべし

▲高山參謀長來奉 關東都督府參謀長高山少將は十五日吉林を辭し鄭家屯方面視察中の處二十二日午後七時二十八分來奉瀋陽館に投宿

二十三日現役隊、憲兵隊、病院等を檢閱し二十四日午前撫順に赴き同地一泊の豫定なり

▲撫順慘災と督軍 張奉天督軍は過般の大山坑爆發の大事件に於て約一千名の支那工夫の災死者あるを聞き直ちに撫順縣知事に詳細の調查を命じ其復命に由りて災害の巨大なるに深く同情憐憫し生存者に對しては相當撫恤の道を講じ又死者は該坑の再開を待ち一々其姓名を調查し之れを其鄕里に通告する等滿鐵會社が十分の撫恤を盡す外に自國地方長官として愛民の實を擧ぐる旨を聲明せり

▲哈市の支那銀行 哈爾賓 支那銀行は其收支共に大洋本位となせるが同行去年中の純益は大洋四萬七八百萬元に及び哈爾賓農產銀行の純益も亦二十萬元を下らずといふ尤も後者の銀行章程に據れば其利益の百分の十は發起人に百分の十五は積立金に配分す可く株主は百分七十を受くるに過ぎざれば大なる配當を受くる能はざるべし尙浙江興業銀行は哈爾賓に於て事業を營むべく行員を派出して目下調査中なりしが近く其代理店を置く筈なり

▲洮南司令部設置 洮遼鎭守使署を洮南に移すの議は已に成立したるが正式の移轉は春季に行はるべく廳舍は洮昌道尹公署の舊址に修築を加へて使用する筈なり何分蒙邊不穩の際なれば該使署を司令部となし且つ汽車の便を開きて遼源に往來し四鄭鐵道と接續を計り以て蒙邊各縣の防備に從事すべき計畫也

▲外蒙劃界の順序 來る三四月頃より開始さる可き外蒙劃界事件に就き該委員會は其實行順序として該境界は數千里に亙る廣大なる地域なれば之れを三區に分ち(一)恰克圖を起點として唐努、烏梁海を經て科布多に到る者(二)科布多より新疆甘肅を經て內盟西二盟の某地點に到る者(三)西盟某地點より內蒙東四盟及び奉黑二省の沿邊車臣汗部を經て恰克圖に到る者の三區とする事に決定せり

人事消息

▲村上龍佶氏(李王職事務官) 嚴父危篤の報に接し夫人同伴二十四日朝東上 ▲齋藤國太郎氏(實業家) 二十三日內地へ ▲[illegible]氏(公州地方法院檢事) 同日出發赴任 ▲吉城松藏氏 二十四日朝內地より歸京 ▲新橋榮三郎氏(湖南鐵道社長) 二十四日朝內地より入京朝鮮ホテルへ ▲岡本至德氏(咸興地方法院檢事正) 二十四日 ▲岡本正夫氏(咸興地方法院長) 同上 ▲平野鶴二氏(大陸棉花貿易商) 同上 ▲中井國太郎氏(龍山製粉會社重役) 二十四日 入京朝鮮ホテルへ ▲松山健一郎氏(神戶貿易商) 二十四日朝入京 龍山旅館へ ▲前田利一氏(兵庫貿易商) 同上 ▲芥川正氏(釜山日報社長) 同上 ▲市川堅太郎少尉(步兵三十旅團副官) 二十三日夜入京 ▲谷澤龍次郎氏(同副官) [illegible]

[illegible]

◎子持の大熊と組んで 雪の斷崖を轉がり落ちた憲兵上等兵

成鏡北道警務部長 水間憲兵中佐談

レコード破りだと云ふ寒さの京城に來て吾輩は避寒旅行でも爲て居る如うな快い心持に成つて居るよ、咸北などの寒さと來たら全く憐用捨は無いからね、

■九月の末から雪■ が降つて十月の末になると京城のレコード破りの寒氣だと騷ぐ零下二十度を超ゆる事は珍らしくない、十二月から零下三十度以上の寒になるのは屢々の事だ、それも京城の如うに風が靜かなれば好いが

◆咸北は長白山颪の烈しい 奴が掠ぐり付ける如うに吹き捲くるから徹へるよ、或る人の統計に由ると寒氣は風速十米突毎に七度宛の寒さを感ずると云つて居る例へば零下三十度の時に秒速二十米突の風が吹けば其の寒さの感じは無風の時の

■零下四十四度の■ 寒さと同じ程に感ずる譯である冬の長白山颪は殆ど毎日の如く十米突以上の秒速で吹いて居る其れに零下三十度以上の寒さが珍らしく無いと云ふのだから其の寒さは大抵想像されろ、降雪は尠ないそれに西北から烈しい長白山颪が吹き付けるが

◆平地や山の雪は皆な掃きた 如うに海へ吹き込んで終う、しかし平素も凹地に雪が吹き溜まつて居るから土地不案內の者は却々危險で往々此の溜雪の中に陷込んで往生を遂げる者が有る、イヤ雪の中に陷込まなくても凍死する者も決して尠くない、現に昨年の末にも鏡城署の

■一巡査は夜半に■ 召集を受けて其の歸途寒氣の爲めに自宅に近い處で凍死して居つた、凍ゑて死ぬと云ふ時にはモウ何んとも仕方の無いものと見ゐ路の傍に引揚げてあつた小舟の處に寄添つて暫らく烈しい寒さを避けやうとしたものらしくその船の處に

◆胴にして劒の柄を握つた 儘眠つて居るやうな面をして死んで居つたが發見した時は身體は鐵の如うに固く凍つて居つた、寒さも茲に至れば物凄いものである物凄いと云へば虎、彪、狼、豺、熊、猪何んでも御座れと云ふ有樣だ其處で犬を取られた此處で

■豚を攫はれたと■ 云ふ如うな事は毎日だ此の間も部下の憲兵上等兵は附近の住民から大熊が出たと云ふので、補助員を隨へて熊狩に出掛けた處が突然足元から熊が躍り出たので急所を目掛けて二發撃つたが熊は其位の事には些しも避易せず上等兵に飛懸つて來る

◆今度はモウ鐵砲を發つ暇が 無い能來ぬから上等兵は熊に抱付いて角力つて居る内熊と一緒に組付いた儘谷底に轉び落ちて終つた流石の大熊も今度は堪らぬと思つて逃出す奴を擊取つたが上等兵も却々の重傷を負つたと報告が來て居る後で見ると熊は其處で三匹の子を育つて居つたさうだが此處は清津と鏡城との道に極く近い處だから驚いて終うだらう

◇警務部長の見學

目下入京中なる各道警務部長は打揃ひ二十四日午後一時頃より警務總監部前庭に於て隈部京畿道警務部長の案內にて京畿道警務部消防係所管の消防機械なる水管自動車及び機械梯子の見學を爲したるが小熊消防主任警部より構造及び使用方法等に就いて說明する所ありたり

◎四年前の强盜

慶北慶州郡江來面旺信里金士鉉方漢文敎師辛海[illegible]奪し同月九日午前二時頃同李贊久方に押し入り同一手段にて金四圓四十[illegible]去るも昨年逮捕され大邱地方法院にて懲役十年の判決を受けたるが不服を申立て大邱覆審法院に控訴[illegible]

廿三日午前九時三十分釜山入港新羅丸 二等（八名）八木政三、朝倉益藏、岡本章、西條新太郎、稻田塊、李錫山、飯田與三郎、堀本竹三郎、三等（二十四人）[illegible]韓郎、岡村榮造、高橋貞次郎、河野道平、佐藤春治、鈴木富藏、同靜、大岡勉、同淑、同貞、瀬川要女、宇佐美與屋、山脇正隆、永井乙貞、福田彦五三、河部貴三郎、福田哲三、奧田務郎、市川雄三、外百二十四名

◎軍裝の馬賊 九臺の馬車を襲擊して金品一千圓を强奪す

去る十九日午前十一時三江口の南東二十五支里なる小王家屯に軍裝せる馬賊八名何れも騎兵銃を携へ通行中の九臺の馬車に一齊射擊をなして停車せしめ乘客を悉く附近の民家に押入れ現金七百圓物品約三百圓を奪へり乘客中には邦人三名ありしも被害なし旅客護衛の巡警は武器馬等を奪はれて逃げ去れり（奉天電報）

◎龍山の製材所燒く

二十三日午後三時五分頃龍山岡崎町營練兵場前材木製材所清水繁太郎氏所有の亞鉛板葺製材工場より發火したるより龍山憲兵分隊より憲兵出動し龍山消防組を指揮して消防に努め京城よりは南大門常備消防隊出動し同工場一棟約百坪を燒失したるのみにて他に類燒なく同三時五十分鎭火したり尤も同工場は機械仕掛にて製材し居れる一棟とて件の製材機及び材木幾分を燒却したる爲め全部の損害時價に見積り約一萬五千圓の見込みなりと尙該工場の一部は二階建となり居り其の二階三疊の室の置炬燵より失火して遂に大事に及びたるものなりと而し附近には住宅及び其他の家屋接續し居りしも白晝にて無風なりしと消防の出動迅速なりし爲め幸に延燒を免れたるものなりと尙該建物には共同火災に二千圓、報國火災に五千圓の保險を附しありたり

◎進行中の二列車 救護列車諸共に埋沒 岩越線の大雪＝數十名の凍死

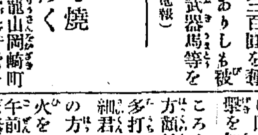
最近新潟縣下大降雪あり二十二日岩越線にて進行中の二列車大雪崩に埋まり救護列車を發したるに又も埋沒し常務員人夫數十名凍死の見込みにて二十三日夜迄に九名の屍體を發見せりとの報あり（大阪特電）

◎悲しき通夜の宵 竹中一家の葬儀

兇賊の毒手によつて無慘なる死を遂げた竹中書記の家は眞眞洞驛を西北に去る二里半龍岡邑內が約一丁を距てた一軒家の南向き日本建平屋で奥行二間間口五間六疊一間四疊一間溫突一間あり約半町餘り離れた所に

▲新納屋が ある竹中書記は二十二日の朝五時頃細君が姙娠八箇月の身重な身體で立居も不自由であるから毎朝の例に倣ひ自ら制服をつけ白の手袋をはめて溫突を焚きつける薪をこりに提灯をつけて出かけて行き戶口まで歸り著いたところを隱れてゐた賊のために手斧で先づ左の頸の骨をやられ續いて頭骨を粉碎される其悲鳴を聞きつけて驚いて腰帯もせずに起出で、

▲來た細君 の右側顳耳骨上部に賊はまたもや一擊を加へ賭れたところを顏面鼻骨下方顏骨に渉つて滅多打にしそのまゝ細君の屍體を溫突の方へ打ち込んで火をかけたらしく午前五時二十分龍岡郵便局から眞池洞驛に向ふ途中にあつた遞送人金大換が同家より火烟の立ち上るを見て



▲聲を擧げ て里民に急報しその間に賊は去つた後里民が驅けつけて消火したのであるが家財は大半燒け賊の遺した證據品は何もなく光景慘憺たるものであつた急を聞いて鎭南浦よりは河村檢事が溝口書記を隨へ現場に出張し鎭南浦署よりは古市警部宮原刑事外數名の

▲警官現場 に出張 平南警務部よりは福田副官下士一名を隨へ現場へ到著し直ちに非常線を張り午後二時より妹尾醫師の立會で檢證に著手し午後五時檢證を終り屍體は一先づ龍岡俱樂部に引取り更に近藤醫學士執刀の下に再檢證をなし市民一同親子三人の屍體の枕邊に悲しい通夜をした不幸なる親子の葬儀は

▲二十四日 午後一時龍岡邑內に於て神式を以て嚴肅に執行せられた（龍岡にて特派員發電）

◇不幸なる一家（右より竹中勇氏、中央後家妹某、中央前三女きれ子、左妻うし子、今回慘事の行はれし家にて昨年九月撮影）

◎緞子の女帶 巧みな明巢覗ひ

昨年二月頃より釜山市內に明巢狙ひの泥棒徘徊し其手段中々巧妙にして鮮人なるか內地人なるか殆んど見分け附かず其筋にても大に持て餘し居たりしに歲臘より本月に掛けて又々頻々被害の屆出あるより

▲嚴重に探偵 したる處此程漸やく捕縛したるが該泥棒は慶尙南道東萊郡西面釜山里生れ當時釜山府凡一洞九百五十五番地張學高事李振汝（三四）と云ひ去る明治四十四年の春窃盜罪に因り京城地方法院に於て懲刑二十に處せられたる前科者にて同人の自白する處に據れば去る大正五年二月二十五日凡一洞合田津太郎方の不在に忍び入り衣類四點其他雜品價格三十二圓五十錢を竊取したる以來同十月三日釜山大廳町二丁目吉川萬藏方にて現金十五圓、同十一月三日京樂館通官舍田中辛右衞門方にて現金四圓、同月二十三日大廳町四丁目木下米市方にて女帶一筋米三升價格二十圓六十錢、同日同町三丁目彩野佐市方にて衣類七點價格六十一圓、同月三十日釜山瀛田町樋口つろ方にて現金一圓二十錢金指輪一個白米九升價格七圓八十五錢、十二月四日大廳町三丁目大和照平方にて白米一斗五升、同月十八日同町一丁目瀨津森子方に忍び入り

▲衣類十一點 價格百三十圓なるを竊取し風呂敷に包み持ち出したる所へ[illegible]同町三丁目富永孫三郎方にて置時計一個及び[illegible]價格六圓四十錢を同一月七日午後五時頃同町一丁目江崎佐之助方にて置時計一個外衣類五點價格四十六圓三十錢を昨年十二月十二日午前十一時頃[illegible]町一丁目岩崎[illegible]一郎方にて現金四圓二十錢在中の

▲蟇口一個を 同十三日同町二丁目[illegible]方にて銘仙女袷一枚外衣類六點價格九十圓を同十七日午後一時頃本町五丁目[illegible]方にて博多男帶價格十圓を同二十日午後二時同町三丁目中村[illegible]方にて銘仙袷女物外衣類三點價格四十六圓を同二十三日[illegible]町一丁目大久保[illegible]方にて銀側懷中時計一個衣類二點價格二百二十五圓二十五錢を同月上旬東萊郡[illegible]面姓名不詳日本人方にて[illegible]子女帶[illegible]價格十圓を[illegible]

▲多額の被害 に驚き如何にして忍び入りしかを訊問せしに平素市內の淋しき場所を彷徨し戶口に錠を陰しある家を搜し留守宅に忍び入りしものにて贓品は釜山府凡一洞原田龜吉方雇人徐文守（三）及び支那北京生草梁洞齊飛雲（四）廣島縣生釜山府佐川洞古物商松重音五郎（三）香川縣生れ釜山凡一洞野菜行商間島廣吉等に情を明し賣却したる旨自白したるより故買者一同も拘引せられたるが放買者は情を知れるより價格の十分の一以內に何れも買取り居たりと（釜山）

◎宵の强盜 邦人二名重傷 一名即死す

去る二十日夜八時四十分營口花園街賣藥商茨城縣人大槻留藏方に四名の强盜押入り同人及び當時天津在留德島縣人寺井孝次に重傷を負せ且大連より來合せたる恭の師匠山平壽內繼の妻平野はるを即死せしめモヒ僅かに三匁を奪取り逃走せり警務署は事件發生後二十分にして聞き附け直ちに大活動を開始し二十日夜中迄に嫌疑者一名を捕縛し目下嚴重取調べ中なり（奉天電報）

◎燈臺、流れて 蝟島まで

一月上旬の大嚴寒大風雪の際流氷に押し流されし疑ひある群山港外の挂燈浮標は其筋にて搜索の手を盡せしも仲々發見されず或は氷塊の爲め海中に捲き込まれしに非ずやと稱されつゝありしが兩三日前海上十數海里を隔てし蝟島の海岸に浮標漂流し里長は之れを里民と共に拾ひ上げ保管し居れる旨遞信局に報告あり但し其の破損著しきものある爲め直に原位置に据付くるを得ず故に遞信當局は二十四日仁川出帆の光濟丸に豫備挂燈浮標を積載して群山港外に流失せし跡に設備し同時に他の三浮標の位置流動の修理をも行ふ由而して蝟島に漂著せし浮標は仁川にて大修理をなすべしと

◎ハルピン丸 遭難者を救ふ

無線電信で木浦へ報知

去る二十一日午後木浦無線電信所へ木浦港沖合航行中なりし大連大阪間定期船ハルピン丸（大阪商船會社持船）船長より無線電信にて同日正午七發島の南京雉島の南方一浬の沖合にて難破船一隻を認め直に乘組員務安那黑山面深村崔ダイジョ外三名のものは無事救助し得たるも漁船は遂に投錨せる儘之を遺棄したりとの報あり木浦警察署にては同樣無線電信を以て生存者の保護を依賴せるが遭難の狀況等は目下取調中なり（木浦）

◎眠つてる隙に女が逃げた

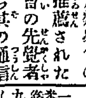
忠南保寧郡熊川面冠堂里兩班織物業田姓女（二）は姦通罪に依り懲役四箇月の判決を受けたるものなるが同人はヒステリー症にて時々假死の狀態に陷ることあり且つ左脚不具にして歩行自由ならざる爲め一月十六日午前九時頃忠南靑陽憲兵分遣所より憲兵附添ひ俥にて公州に向け護送の途中靑陽郡定山附近にて例のヒステリー發病し同日午後八時半頃公州郡城面銅川里に於て呼吸及び脈搏全く止まり四肢を强直し殆ど絕命の狀態となりたるを以て附近なる銅川巡査駐在所の巡査と協力の上同人を銅川里金快俊方に擔ぎ込み應急手當を加へたる後護送上等兵は之か監視方を補助員に命じ置きて他の二名の囚徒を公州に押送したるが一方田姓女は同夜十二時頃快癒したる所監視補助員の居眠りの隙を窺ひ逃走したり急を聞き靑陽分遣所にては附近の各隊署に手配して田姓女を搜索中なりしが十九日公州郡寺谷面新永里柳成乘方に潛伏中を公州警察署の手に逮捕されたり

◎細民救助

京城蓬萊町八二資產家東錫喜（六八）氏は一月二十日阿峴里細民四十餘戶に對し各戶に白米五升宛給與したりと

◎下宿屋荒し

熊本縣天草郡登立村生れ仁川花町一岡丁方寄留下宿業伊山和重は舊臘京城光化門下宿業伊藤新八方に一箇月十圓にて三十一日迄下宿したるに下宿料其他立替金七十圓七十錢を踏倒したる上に金五圓餘の羽織を窃取逃走りたる事判明二十三日仁川署に捕へらる



▲朝鮮にお馴染多き帝大理科大學講師の鳥居龍藏氏は這回佛蘭西人類學會の決議により日本通信員に推薦されたが同會は斯會の先覺者であり且つ權威であるから其の通信員は世界一流の學者といふ意味である相な▲大鍋の手柄に柴崎京城中學校長の恐悅ぶりをさぞやさぞと思つたところ果して嬉し泣きに泣いて大萬歲を叫んでゐる▲師弟の情誼に厚い二人の姿は漫畫子や寫眞班の目標になつて盛んに失敬されてゐる▲去る風呂屋さん曰く『石炭がかう騰つては何處の湯屋でも青息です月に五六十圓は食込みますな▲湯錢は大阪が三錢五厘東京が四錢で京城が東京と同じちやあ實際遣ラガスよ此の頃の嚴寒では鮮人の泥棒が炬燵にあたりにやつて來る▲昨日も櫻井町に這入つた鮮泥は玄關の靴を盜んだまゝとても寒くて死に相だと云ひながらノコノコ上るところを捕まつたといふ

■課題及び募集規定 ◎讀者文藝課題 [illegible]

■募集規程 ▲用紙は端書又は同形の洋紙二枚毎に紙上の雅號又は匿名の外に住所氏名明記の事▲贈賞は一週間毎▲種類の異る毎に用紙を[illegible]

天氣 はれ 晴れ一時曇り（廿四日午後六時より廿五日午後六時迄）一月二十五日

滿潮 干潮 仁川 釜山 [illegible]

〈演藝案內〉

御成座 御成町 電話一一九一 第十九回[illegible]『一人妻』全八場 [illegible]

壽館 京城壽町 電話一〇五〇 ◎獨流浪花節敎育的讀物 ◎第五日目讀物 ◎明烏十勇士（原辰男）◎一休和尙 ◎續（吉川辰見）◎旅順の花 ◎水府公 ◎續（長講）二席（原情風）◎九津田越前守 ◎大和名劍寶刀（長講）一席（原晴夢） ▲入場料 一等三十錢 二等二十錢 三等十五錢 但下足料共

稻荷座 本町五丁目 ▲浪界の北斗竹川馬生一行 一月廿四日より讀物每日續きです 一義烈百傑（竹川一夫）一四つ谷怪談（廣澤廣駒）一百文中の一（京山光若丸）一向井善九郎武勇傳（藤川粂春）一忠臣義士之本快 一水戶黃門漫遊記（竹川馬生）▲初御目見得御披露の爲 十五錢均一

浪花館 明治町 電話二六〇 ▲東京落語柳連雷門助六一行 一月二十一日より每夜五時開演 [illegible]

大正館 櫻井町 電話八七三 日本活動寫眞株式會社朝鮮代理店 一月二十日より提供の新寫眞 ◎泰西活劇『好騎手』上、中、下 三卷 ◎舊劇 女俠客梵字の小萬 全四卷 [illegible]

黃金館 早川直營 電話二六三七 天然色活動寫眞株式會社朝鮮一手代理店 一月十八日より新提供 米國パテー社作世界的連續寫眞全十二篇廿四卷 大冒險大活劇 [illegible] 新派大悲劇『村雲』[illegible]

寫眞 寫眞出張撮影 寫眞銅版亞鉛凸版 最も熟練せる技術を以て最も廉價に迅速と叮嚀親切を旨とし御需めに可應候 京城日報社 寫眞製版部

生徒募集 本年四月入學セシムベキ本校第一學年生徒約百名ヲ募集ス詳細ハ一月二十日以後五日間ノ朝鮮官報又ハ本校ニ就キ承合スヘシ 大正六年一月 平壤中學校

謝近火御見舞 大正軒 吉田與三次郎 京城府龍山練兵所前

謹告 昨日午後三時當店工場失火一棟全燒致し各位に御迷惑を相掛け何共御詫の言葉も無之恐縮の至りに不堪奉深謝候尙其節は當該官憲各位各消防隊を始め公衆各位早速御馳付け消防に御盡力を辱ふし御蔭を以て鎭火候段厚く御禮申上候混雜中御尊名伺洩も難計乍略儀以紙上御厚禮申上候 京城府岡崎町九十七番地 清水製材所 電話龍山五三番

謝近火御見舞 昨日龍山岡崎町當組工作場近火の際は早速馳付御見舞を辱ふし難有奉深謝候乍略儀以紙上御禮申上候 京城南山町三丁目 合資會社清水組 京城出張所 電話長三四九番

謝近火御見舞 土木請負業 藤井森次郎 京城府岡崎町九二 電話六二二番

謝近火御見舞 酒類雜貨商 満田新造 京城府岡崎町九〇ノ四

謝近火御見舞 材木商 山本保兵衛 京城府岡崎町（龍山）電話二四五番

謝近火御見舞 大陸商店 京城岡崎町九二番地 士家庄次郎

謝近火御見舞 須川材木店 京城府岡崎町 電話（龍）四三四番

謝近火御見舞 鐵工業 城野三次郎 京城府岡崎町九四

……を携へて……里李申源方に侵入して威嚇し金二百……役十二年金好相は懲役十年の判決を受け獨り辛海龍のみ法網を遁れ居た……面を提供せよと強請し金十六圓を強……

連絡船……十時釜山入港對馬丸一二等客一等（四名）川江秀雄、米人二名、英人一名
……四郎、龍木次郎三郎、林弼平、同たまよ、同順道、隅田政一、同初枝、同順一、安藤乃彌、同辰五郎、村田篤郎、木上恒藏、大村藤次郎、田口武里、森……

●卒業生の賣口を訪ねて
忙しい校長さんの心＝並ならぬ苦心

縁組の始末から、一人前になれば嫁入口まで探して遣らねばならぬ親心も仲々の卒苦ではあるが商業學校の様な

◆特別な事情を有つた學校では卒業生の方向に就いては子を懐ふ親心の其れにも似て深い同情と温い斡旋と指導を以てせねばならぬので卒業期間近い

◆昨今は何處の學校長も卒業生の賣口に苦心慘澹して居る、仁川公立商業專修學校に熊谷校長を訪へば僕の學校の卒業生は九人の見込だが其中

◆四人は神戸高商の入學試驗を受けに行くから都合五名の生徒の就職口を探せば宜い併し此の方も鮮銀と百三十銀行から申込みがありあとの三名も大抵

◆見込がついて居るから安神だと肩の重みが取れたと言つた程のニコく顔、ナンでも卒業生中に一人でも遊んで居る者があれば銀行會社に徴兵適齢者が何人ある

◆退職者が出來たと言ふ様な事をチャンと心得て置いて逸早く採用方の依頼狀を出すのだ相だつい先日も京城電氣の仁川支店員が刑事事件で

◆免職になつた事を新聞で知つて直ぐに卒業生を賣付けんと言ふ程で母校を頼りにして居る卒業生に對しては出戻りでも再縁でも身の落着くまでは世話する事を拒まない更らに

◆鮮人側の商業學校に伊藤校長を訪問すると同校では二十四名程卒業する見込みであるが需要供給が伴はない關係上どうしても校長自らが地方に出馬しないとあたらしめねばならぬので本年も二月一日頃から向ふ二十日間計りの豫定で北は平壤鎭南浦南は木浦邊迄注文聞きに歩いて來る事になつて居る、同校

◆卒業生の方向は大抵地方金融組合か共益社か銀行會社等で中には自分で客主業や書籍商を營んで居る者もあるが會社銀行組合等の需要者側では異口同音に成績

◆抜群の者を希望し商店などでは思操の堅實なお世辭のうまい者を注文するので學校でも斡旋上非常に頭を惱まされるとの事である（仁川）

●何うして救療すべきか
—恐るべき阿片吸食癮者、モルヒネ、コカイン注射中毒者—
■一身一家の破滅　▼隈部京畿道警務部長談▲

阿片煙吸食は古來支那の惡習である事とは誰れも知つて居る處で同國人の移住或は交通の關係上已に七八十年前より朝鮮に傳はり其後漸次此の

▽惡風各地に浸染したものであるところで今を去る事約二十年程前に宣教師で醫師を兼ねたる外國人が人道上此慢性中毒者を看過するに忍びないと云ふ事からモルヒネ注射を施したが是れが後來モルヒネ注射嗜好の弊風を助長した動機を與へた事になつて

▽手數も簡單であつて費用もかゝらぬ故後にはモルヒネ注射嗜好者の數が却て阿片煙吸食者の數より增加するに至つたもの〻様であるモルヒネコカイン等の注射は最初は單に

▽一時の痛苦を免かれ又は愛時の快感を得んが爲めに行つたものが其の回數を累ぬるに從ひ遂には之に耽溺し容易に自ら其の慾を制し之を廢止する事が出來なくなり全く慢性中毒に陷り身體も精神も共に癈痺して

▽一日も注射を止める事が出來なくなり遂には全く職業を曠廢し財産を蕩盡し流離困頓妻子と離散するに至るもモルヒネ注射と離るゝ事が出來ない爲め後にはあらゆる德義又は

▽廉恥を抛ち浮浪乞丐の徒に墮落し或は竊盜を常習とするに至り之れが爲め社會の風俗を紊り公安を害し其他の害毒を流すことが實に少なくない曾て韓國政府時代に於ても

▽其の弊風を匡濟するの必要を認め之れが禁遏を試みたが徐に効果を奏することが出來なかつた數年前藥品取締令の發布に依り劇毒藥の販賣授與に對する制限を設けられたが注射常習者は

▽巧に奸手段を用ひ藥品を手に入れて注射の用に供しつゝあつた昨年試みにモルヒネ、コカイン等が如何に内外國より輸移入せらるゝやを調べて見た處によると大正四年中税關を通過して輸移入せられたるモルヒネ八萬三千六百三十八圓コカイン二百九十一圓の

▽巨額に達して居る尚モルヒネ、コカインの販賣に就ては京城に於ける重なる藥種商より醫師、醫生、藥種商等に販賣する數量が意外に多額であつて大部分は

▽醫療用以外不正に使用せられて居る事が分つた依てモルヒネの密賣者は嚴重に注意して苟も不正に販賣した者は容赦なく檢擧して處分して居る大正五年中に處分した者が京城のみにて二十一人あつて

▽其の内八人は藥種商であつて其の他は雜貨商無職者である是等は將來も尚一層嚴重に取締りをする積りである又醫生が多量のモルヒネを購入して盛んに注射をしてやつた事を發見して處分したのもあるそれで

▽藥品の取締に就ては警察署に於ては藥種商に對し醫師、醫生、藥種商等身元確實にして且其の用途の正確なると認めたるものの外販賣せしめざることとし尚ほ警察署の證明を受けしむる事とし帳簿を設けて其の受拂を詳かにし以て

▽藥品の濫賣を防ぐこととした又一面には警務部令を發布してモルヒネコカインの注射をなし又は之を受くることを得ざらしむることにしたが是れに依つて處分したものが昨年中三十三人あつた（つゞく）

讀者文藝（一等には五十錢の回數券を呈す）

▽物は付『默つて居てわかるものは』

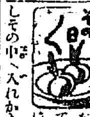
○芝居のだんまり（一等）　海州　善狂
▲飛脚　京城　松風生
▲人の品格　龍岩浦　にしき
▲呑み酒　長興　三木 敬三
▲寄る年波　龍山　呑天公
▲客主の足音　京城　大内 竹園

●京城大和會の發會　京城に在住する奈良縣人にして西村道彥、辰市本丸、小林藤右衞門氏等の諸氏發起となり標題の如き會を組織したり同縣人にして京城在住の者は成る可く至急明治町一丁目一〇小林藤右衞門氏宛申込まるべし

神社とお寺と教會

●京城基督教靑年會（南大門通）　二十五日午後五時より中央基督教靑年會に於て體育會催されたり
●西本願寺（若草町）　二十五日午後二時より二十一教あり
●佛教院（本町三）　二十五日午後一時より總代例會

たいどころ（その日）



●牡蠣の玉子とぢ　牡蠣を鹽水にて洗ひ鍋にて……なして夫れへ煮汁味淋醬油にてさつと味附け三葉を五分位に切り入れて玉子を好くほぐしその中へ入れかき廻して器へ盛ります

商況

東京公債直取引（二十四日出來値）

五分利特別	八三、二〇
五分利甲號	八二、三〇
一回四分	―
二回四分	―
甲號五分	―

債券現物特電

東洋拓殖	―
京城電氣	―
朝鮮銀行	―
朝鮮瓦斯	―
南滿鐵道	―

深川在米特電（二十四日現在高）

鮮米	一三七、〇四五
新潟米	九五、二八〇
内地米	一、六八四、八九一

東京期米特電（二十四日前場）

	三月限	後場
寄付	一七、一〇	―
高値	一七、一八	―
安値	一七、〇八	―
止め	一七、〇八	―

大阪株式

銘柄	拂込額	二十四日前場	後場
宇治川水	五〇、〇〇	―	―
神戸電鐵	五〇、〇〇	―	―
京阪電鐵	三五、〇〇	―	―
和歌山電	五〇、〇〇	―	―
合同紡績	二〇、〇〇	―	―
鐘淵紡績	五〇、〇〇	―	―
同上新株	三五、〇〇	―	―
東洋精糖	五〇、〇〇	一三三、一〇	―
大阪商船	五〇、〇〇	一一三、一〇	―
日本郵船	五〇、〇〇	―	―
大阪米穀	五〇、〇〇	―	―
東京新株	三五、〇〇	一二六、〇〇	―
大阪新株	五〇、〇〇	一二五、一〇	―

大阪三品特電（二十四日前場）

一月限	一七一、〇〇	一七一、八〇
二月限	一七一、〇〇	一七二、四〇
三月限	一七一、四〇	一七二、五〇
四月限	一七〇、九〇	一七一、一〇
五月限	一六九、九〇	一七〇、一〇
六月限	一六九、九〇	一六〇、九〇

下關期米特電（二十四日前場）

當限寄付	一五、五五
中限寄付	一五、九七
先限寄付	一六、五三
止め	―

二十四日前場愛正米既迫見越に戻せり

	當限	中限	先限
寄付	―	―	一六、四四
高値	―	―	一六、四六
安値	―	一六、二六	一六、四四
止め	―	―	一六、四四

雜報

●染料底强し

舊節前に於ける染料の荷動きは邦人問屋側は概して閑散の裡に經過せしが賀舊の方面は値高の關係上平年の如くならずと雖も比較的良好なりし爲め鮮商側の特品は殆ど手持を一掃されし如し一面の組織類の賣行き又案外好結果を告げ織屋筋は各自製造を手控へし実舊年末には補充注文にさへ應ずる能はず明けし程にて舊正

織屋筋及雜貨商等は必然染料に買氣を進め來るべし

と状は之に鑑み居れり一方市中の現況は諸種の傳はり以來頭打ちの感を呈し相場は當時概して引弛み昨今其傳備不備みの裏に現在市價は内地相場に比較し割安といふの市中安值を呼き依然工元の成行きにて充分の上餘地なきにあらざれば後の賣行き模様により相場は工元唱への至高百四十圓見當迄釣上げ得べしと

●織物類は軟弱

新春初市より南大門内の本地織物商況は引續き振はず舊正月に迫れる今日は更に活氣無し吾等一般に是か舊の時の市價は補充的の小口取引に過ぎず商況は益々見ざるべからざるに至りて相場は又々

五七步品一割方の低落を來し

て目下の取引は冬物が夏物半々位の狀況にして夏物相場は冬物に連れ等しく不況なる一般に比し約一割方の低落を告げ居れり

●木炭引續き昂騰

木炭は引續き漸騰の一方にて現在の如く今日にては愈々小賣の方は一圓二十錢といふ高値を現出せるが之は蓋し製炭者の方も手薄なりし爲めにして各出荷地方共昨今は全く炭燒き就業の者なきを以て日々の廻着は何れも不能となれるの折柄賣人の足元に付込むと買人の勝にて現品を手に入るゝ事難く遂に急騰を見るに至りたる次第なるが此先或は一時品切れを見ずやとの杞憂もあり

●塗料は依然持合

需要期は過ぎてとて閑散期に入りたるべきペンキ類は例年ならば幾分低落を見るべき筈なれど本年は市場品薄にて反つて高値を現はさんとの勢ひにあり尚持合ひを持續せり併し先行ペンキは若干の下押を見るべく高値を見るが如き事となりべし

尚一段の上押し氣構へ（居るもの〻如し）

●テレメン油

油は原料の下押込を以て稍氣弱き成行也

●夏羅紗氣配高

市場にては昨今頗りに夏物生地の引行はれつゝあるが相應の入荷にも拘らず一般に品薄にて昨年來の値段を保てるは本國商と約定品の不着とに基く

約二割の高値

となりたるが市中當業者また昨年冬物の仕入れを通めたるため昨年に比べ居る者大抵初めまでに行ける流行色の好況なりしに鑑みて春先き物の好然茶にてもセルの製品は日立たぬがならぬは私服は專ら此分を使用さるべし

賣行き好見越

●粕肥料の昨今

粕鮮内大豆粕の需用北年增加あるか沿岸地方は海路大連より又地方は安東縣より移入せらるゝ

> 仁川海岸町三丁目　米豆取引所仲買人
> ㊖森仲買店
> 本宅電話八六二　店用電話長九〇番　九〇五番

路は船腹の緩和と戻り便なき爲め賣れ行きあり是れ所謂肥料上の需要を素として使ひ易き品の事とて

比べて意外に歡迎

されつゝあるが經濟的價値は尚充分研究の餘地あるべしとされ昨今二圓三十四五錢より三十八錢迄の間を往來し居り卸し値一圓五十錢より一圓六十錢迄の見當なり

人肥の高値

▲胡麻粕　例年秋冬の頃胡麻油の製造期には其粕幾くて一メ十三錢内外に過ぎずして春期肥料の需用期に反し本年は二倍近き高値を出す狀況なり

舊正前に一向下向かず

今日迄にても手放し難き相場を保ちつゝある一部鮮商の客主の戻押ても意外に腰强さ譯なりと說くも是れ本年の何れにも其の思惑あるによるものなればせよ此の場合

期末に押し通す高値に需用

▲油粕は未だ賞需筋の買込みなきと朝鮮産の相場割安を維持せる爲め内地及滿洲産の入荷を見るに至らざるも今後早晩時期に入らば朝鮮産の相場は漸次之れ等の輸移入を增

加すべし朝鮮在の相場は十貫目一圓八十錢乃至八十五錢見當なるべし

其他木灰は十貫目十三錢以上にて一圓臺を越すは遠か

らざるべく米糠は十貫目に何れも强含み模様なり

●精米徐々引締る

精白米は其後移出は前鑑中絕の姿なるか正米は舊暦歳末前の出殼少しからざりし爲め頃日來ヂリヂリ引締め來り舊正休み中なからず更に一段の高値を見るならん昨今相場は十四圓五十錢

模様を見越されし爲め

地場は漸次逆騰せし精米に於ては十四圓五十錢見當にて今日は十四圓七八十錢を呼ぶ至り頃る手强き成行なるべきを示しつゝあり

下關相場

△朝鮮白米は依然手堅く　其後五百……

●買に支へ跳ね返し

前場の如く産地の廻着ありしが前報の如く産地の頻りに不引合を唱へ各米主の氣張り居る爲め相變らず市況平堅くこれは大豆は矢張り緩まず其後後場山積六九十石乃至百五十石の物百萬本石同様の出廻りありしが何分荷主の損徹するも依然安からぬ情報に依り眼先き杯不引合なる爲め各荷主の安く賣らぬの見込みにて市況弛まず之が小豆は品薄にて北鮮産の如きは狂ひなく出廻り少なきも本品は其後出廻る取引なりしの如くなるより朝鮮物は狂ひなく只尚人氣は特に現物を以て各手持の買い急ぐに眼先き……

京城正米

△朝鮮一等白米	（當用）	十六圓十錢
		十六圓二十錢
		十六圓三十五錢
		十六圓三十錢
		十六圓四十錢
△元山大豆	肥品	十三圓四十錢
		十二圓三十錢
△同大玉大豆		十二圓四十錢
△滿州青大豆		十二圓三十五錢
△同		十一圓三十錢

南大門の廻穀

鮮人の商况休みにて本日の取引皆無なれば確たる見當立ち難きも眼先き出穀の氣構へは頭ぎしく賣込みに傾ける振合がありし移出は此處又々潮賣り增加して見るも白米の如きも當分朝鮮産の市況平均……が肝心の出穀今後の如く穩かるべからざるに於ては結局現在より幾分の上値を見る事となるべし

仁川現物市場

大安籾	一五〇叺	
天安籾二	一八四叺	
天安玄米	三五〇叺	
天安籾二	一〇五叺	
天安籾	一八三五叺	
天安籾一	一七一叺	
天安玄米五	一〇叺	

生魚市場

舊正に當り邦人漁夫の多くは歸國し鮮人漁夫又業を休む爲め生魚の出荷少なく從つて鯖鰹の如き小物にて鮮物も至つて少なし日丸市場平均出來値左の如し

タイ三七、サワラ七、ヒラス一六、ブリ一五、カレ一三、アナゴ一五、サバ一四、グルマ八〇、甲イカ一四、カツ一四、タラ一三、エイ……一五

仁川期米

二十四日前場　天候晴　大阪天候晴

前寄十六圓五十三錢と安く前日の大阪十一錢安の入電二節五十七錢の移りにて當地當限は出來不申に寄付たるが商館にて五錢と押し押さずヂリヂリ八錢と返して依然保合の裡に下げ澁りの成行を示して散

> 期米　仁川米豆取引所仲買人　寶買（平）平田商店　電話二五八番　長一五九

▲廿三日前場　當限 出來不申
△中限 ㊀十三圓〆八錢七錢八錢七
△先限 ㊀メ六錢五錢二錢五錢六
錢㊁メ六錢七錢八錢

▲保合下げ澁る

喧天令朝大阪の下寄を受けて十三圓八錢と小甘したるが各店より現れ（ヂリヂリ）く寄付たるが割高思ひの賣物小口ながら各所より現はれ……五錢と支へたるが五錢にも崩れず押し〆ありしが無砕に返して散會

市場零聞

○日韓二品は大阪の不況を受けて五錢と六錢に押し二錢と寄……徐々に賣込み買戻しの途切るを見つ然れば遂に下向き押目を待ち居る

●期米強弱觀

現下の仲買人は十一名ある十日開業の一月一日開業の十一月開業のは死亡廢業したり（保合相場なるも）持續し居る仁川期米界の裏面には強弱の中間に存し慶南地方の新出穀ある事と當地方の成り行きが其處が一圓以上の引合ひとなりさうな模様である

▲正米の崩落

舊暦未だ正米は移出不引合で前途如何にと見る處米は延へて賣つ正米の崩落を誘ふならんと云ふのであるが是は事實であるとて昨秋以來の出穀狀況等を見るに前途は極めて賣込は出來ぬ事實存外出殼量多き地方へ直接に見越したる……の買ひ越しが續いてゐる……

解氷後の出穀存外尠少

ならんとの見込み内地移出不引合にて滿洲及南洋方面の需要も時代後れにて今や鮮滿洲米は旣に

移出頗る頻繁なる精白米

としての移出が如きは到底望まれず精白米の中場合正米の値段が三百五十一錢以上は米價の上に於て何れが當を得たるや

仁川米豆取引所
二十四日の三月限

前場	
寄付	十三圓八錢
高値	十三圓八錢
安値	十三圓五錢
止め	十三圓七錢
出來高	一萬千七百五十石

平均値段	
一節	十三圓七錢
二節	十三圓五錢
三節	十三圓五錢
四節	十三圓六錢
五節	十三圓七錢

賣買取組高

		前日と比較
一月限	一萬石	一、〇九〇　一安
二月限	五萬四千六百五十石	三、一〇〇　二安
三月限	七萬六千三百五十石	三、〇一〇　三安
二十三日後場		三、〇九〇　四安

▲前場の手振

重なる商内賣買は左の如し㊂各二千餘石㊆中央五千餘石㊃二千餘石各千餘石等に對し買方㊇五千餘石㊁各千石に他は小口商内であつた

▲㊦能く買ふ

今前場に於ける建玉五千餘石買ひたるが如きは益々其手腕を見せたる。同店は他の方は……市の事一面二千餘石の買ありし……

▲展開未だし

一場開散の折柄には場十六日十三錢と報じたるが……反應を報ずるも大勢の趨勢に眼先き買方の利を示したりしが……十三錢を割らず……大勢の擔ぎより○五錢方の値は……大體に於て相場保合の折柄なるを以て小甘保合の成行

差値の買物も意の如く

鈍く相場は依然として……

▲仲買人成績

各仲買人より取引所へ納付したる手數料は則ち左の如き成績を示したり

> 昨年五十錢　大正五年中

㊂	二三、九二三圓〇六
㊆	一八九七、三八一
㊀	一七、九六七
㊁	一七、〇二五
㊇	一三、七〇一
㊃	一、〇〇二、八九
㊄	六、三九、〇
㊅	一、七三一
㊉	九、〇四、〇九
㊈	八、九〇一、一九
㊊	七、九六四、三九
㊋	一、一三九、六九
㊌	八六〇、一四
㊍	八三三、一四

> 一等賣買仲買人　●株式仲買人●大正株式取引所仲買人　田中商店　電話二一六二八番

京城學校組合告示第壹號

京城學校組合區域内ニ居住スル内地人兒童ニシテ明治四十三年四月二日ヨリ同四十四年四月一日マテニ生マレタル者ハ來ル四月一日ヲ以テ就學ノ始期ニ達スルニヨリ右學齡兒童ノ保護者ハ所定ノ入學書ニ戶籍謄本若ハ抄本ヲ添ヘ來ル二月二十八日限リ京城府學務係又ハ京城府龍山出張所ニ提出スヘシ

大正六年一月十日

朝鮮總督府府尹　金谷充

第九期貸借對照表（大正五年十二月末日現在）

資産	
未拂込資本金	參七五、〇〇〇
預ケ金	壹六、六〇〇
當座預金貸越	壹八、八〇〇
割引手形	貳五、一〇〇
荷爲替手形	貳六、五〇〇
他店へ貸	參〇、〇〇〇
有價證券	四〇、〇〇〇
地所建物	壹七、〇〇〇
假出金	七五、〇〇〇
金銀	五四、〇〇〇
合計	六五壹、參四〇〇

負債	
資本金	五〇〇、〇〇〇
法定積立金	〇〇〇
別途積立金	〇〇〇
未拂配當金	六〇〇
定期預金	壹四八、〇〇〇
當座預金	四七、〇〇〇
小口當座預金	壹參六、〇〇〇
別段預金	四九、〇〇〇
支拂送金爲替	五九、〇〇〇
借入金	參九壹、五八〇
他店ヨリ借	八九、八〇〇
前期繰越金	九、六〇〇
當期純益金	五四、五九五
合計	六五、六四九

損益
一金九千六百九拾四圓貳拾壹錢五厘　當期純益金
一金八千貳百六拾圓六拾七錢五厘　前期繰越金
合計壹萬七千九百五拾四圓八拾九錢
　也
　金壹千圓也　法定積立金
　金六千貳百五拾圓也　別途積立金
　金四百八拾圓也　配當金（年壹割）
　金九千貳百貳拾四圓八拾九錢也　重役賞與金
　　後期繰越金

前記ノ各項調査ヲ遂ケ其正確ナルヲ保證候也

大正六年一月

株式會社慶南銀行
頭取　李圭直
專務取締役　尹相殷
取締役　張吉相
同　大池忠助
同　尹炳準
和談役　迫間房太郎
支配人　文尚宇
監査役　井谷義三郎
同　全錫準

> 客室食堂完備
> 佛蘭西料理調進
> 市内四通八達の場所にして庭園廣く眺望絶佳至つて閑靜の地なり
> 宴會は特に御便利に取計可申候
> ファミリーホテル
> 京城南大門通三丁目　電話一二一八番

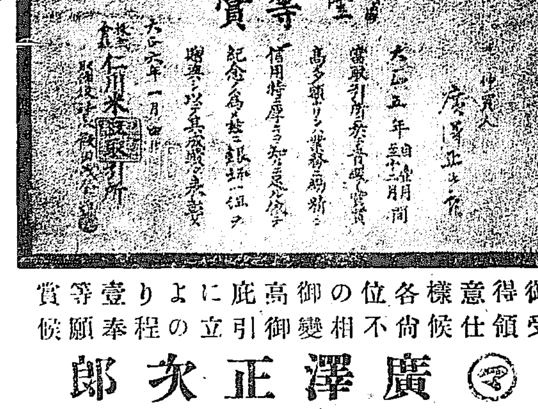
> 花柳病專門外科
> ◉梅毒◉淋病◉泌尿生殖器病
> ◉翠丸病◉肛門病◉皮膚病
> ◉婦人病◉神經衰弱
> ◉六〇六注射包皮其他手術
> 診察無料◉入院隨時
> ◉京城長谷川町南大門通慶銀裏
> 司生堂醫院

> 朝鮮總督府學校講師　西村眞太郎著
> 普通法律商業
> 朝鮮語會話
> 定價金八拾錢　郵稅六錢
> 受驗者必携の資料◉袖珍總クロース四百頁頗美本江湖の大歡迎大好評を受けたる本書は今や再版壹萬部を賣盡し尚要求盛なるに付改訂大增補を行ひ三版發賣するに至れり朝鮮語の智識は本書に說き盡して餘蘊なし特に受驗者に取りては最親切なる解說者たり是非一本を備へられよ
> 賣捌所　京城太平通一丁目　振替京城三〇〇番　京城日報社代理部
> 大取次　大阪屋號　日韓書房　巖松堂　各地支局書肆

> やまの織（商標）
> 染色耐久價格低廉見本は御申越次第無料進呈仕候
> 廣島市平田屋町◉振替東京一五六五
> 山脇喜久二商店

> 京城旭町一丁目一番地元中央婦人病院跡（朝鮮銀行前停留所より一分間）
> 内科小兒科
> 外科花柳病
> 一入院隨意一
> 酒井醫院
> 電話二五四一番

> 六拾五回（壹等割增金）四千圓當籤の樂しみある
> 組賣（同一番號二通壹組）賣廿五圓…買廿二圓（本月中當表）
> ◉十ケ月割拂初拂込金八圓
> ◉送料當店負擔◉御望により銀行荷爲替にて御送申候
> ◉郵券代用一割增にて取扱候
> 大阪市難波元町　勸業貯蓄農工債券
> 吉村兩替店
> 振替大阪九六六八　電話長南五八〇三、五八〇四



御得意樣各位の御高庇により壹等賞
受領仕候尚不相變御引立の程奉願候
廣澤正次郎
電話局六三二一・一六〇・六五番

> 三和高麗燒は宮内省御用の光榮に浴したり
> 香爐　花瓶　香盒　茶器　菓子器其他種々
> 朝鮮特産 三和高麗燒 海老の精
> 海老の精は（風味佳良、滋養分豐富にして貯藏久しきに耐へ御土産として絕好の珍品に御座候）
> 三和高麗燒元　海老の精發賣元
> 朝鮮鎭南浦　富田商會

京城日報……
●何卒何號何日の記事に限る◉宛名は京城日報編輯局讀者文藝係

八日（丙辰）
側候所報告 前日中最低溫度攝氏零下八度　攝氏零下十二度三分
晴　卯年
新月　九月廿一日
二十日　十月二十一日
九月十八日　三月十八日

明君道中記

第三十九席　田邊南龍口演

青山隠田の近藤登之助方へ老中酒井備後守より使者が參りましたから登之助不取敢丸の内酒井の屋敷へ罷出備後守の御前へ出で 登『急の御召早速ながら罷出ましたが御用の趣何事にございますか 備『オー登之助か能うこそ見ゑた、豫て其方も承はつたであらうが、此度和子姫様御入内に就き御手元文庫を用ひる帛八枚に近江八景を描かせし處、既に七景は出來いたしたが今一景の晴嵐を描く者が無い、其方は畫號を五石と申して其道には鍛錬の由、早速御帛へ晴嵐を描いて差出す樣、聞いて登之助大いに怒り 登『拙者儀は德川家の旗下スワ戰場と云へば槍を取つて眞先に進み敵を突伏せに旗下を防ぐをもつて本分といたす、筆を執て畫を描くは手前の役目でない、願くは餘人に仰付られたく、拙者御免を蒙る』と云ひすてゝ疊ざわりも荒々しく立去りました、備後守は呆れて暫時言葉もなく見送つて居ますると近臣が 家『恐れながら大久保彦左衛門殿は旗下衆の肝煎此の御方を御招き遊ばし御相談なされましたら宜しうござりませう 備『其方は宜い處へ氣が附いた、早速彦左衛門を呼んで參れ』家『畏りました直に』駿河臺錦小路大久保彦左衛門方へ使者を送りましたから、彦左衛門は何事ならんと取急いで備後守の屋敷へ出まする、備後守是を見て 備『オー老人早速參つてくれて備後滿足に存ずる 彦『何か急用とのことでござるが御用談は何事でござるか 備『餘の儀でもないが和子姫様御入内に就て御手許文庫八個を調進いたし、右に用る御帛は白綸子にてそれに近江八景を描せたる處、粟津の晴嵐を描く者が無き者故近藤登之助に申し付けたる處、彼は描けぬと申して斷はり、只今立歸つたが如何とも差支る譯であるが、老人の才覺を以て登之助に描せてはくれまいか 彦『何かと存せしに最易いこと然し只描かせる譯にはなりません故お手許金を百圓下し置かるゝ樣、其の金子を遣はして早速描かせませう 備『然らば金子を取らする故何分にも頼む」 彦左衛門は百兩金受取つて我が屋敷へ歸り用人の笹尾喜内を呼んで 彦『喜内 喜『ハツ 彦『大分疊が汚くなつたナ疊替をいたしてくれ、それに家根が漏る故家根替をいたせ 喜『畏りました、然し兩樣では入費も餘程かかりますが 彦『心配いたすな、此處に百兩金ある、此金を渡し置く故何分頼むぞ 喜『畏りました』 彦『出て行つて參るから』と彦左衛門は馬に乘つて青山隠田の近藤登之助方へ參りました、近藤の家來は是を見て 門番『お客ー』 大久保彦左衛門様 彦『コレ〜〜門番、馬を頼むぞ、其方へ牽て參つて飼を遣つて飼糧を與へてくれ 門『ヘエー』 毎度參つて樣子を知つて居りますから案内もなく奥の居間へツカ〜〜と入つて來て 彦『イヤ近藤居つたか 登『誰かと思つたら爺か、さア此方へ 彦『近藤、貴公は酒井の屋敷へ參つて帛は描けんと申して斷り、大言を拂つて歸つて參つたと云ふが、左樣か 登『如何にも斷はつて歸つて參つた、畫を描いて貰はうと云ふならば拙者を鄭重に扱つて偏に頼むと云へば描きもいたすが、老中の權威を以て拙者を呼付け畫を描けでは御受けは出來ぬ、例へ先方は老中であらうと大身であらうと別に懼く處は無い、我々は三河山中安祥譜代の旗下で、下目に見られては一分が立んからな 彦『イヤ然うとも〜〜外様の奴等は足利の天下が盛れば是に從ひ、豊臣の天下となれば降參爲し、又御當家へ從うなぞと取るに足らぬものだ、決して大名國守と雖も懼く處は無い、能く斷はつて參つた、流石近藤登之助其勇氣は感心いたすとイヤニ譽める

外科一般 皮膚科 淋尿器科 花柳病科
院長 安部修三
京城永樂町二丁目金光教會隣
安部醫院 電話四一九番

書畫用 絖畫絹
京染呉服商 まや出張店 京城永樂町 電話二一九六番

一月二十六日九星
舊正月四日戊辰
本命二黒坤平佛滅

△二黒● 餘裕のなき事有る日新事見合せ東方は吉 △三碧● 人におちぬ事有る日新事手控 何事は丁寧にせらるべし △四緑● 平運の日なれども新事控目の方吉 庭園の手入樹を植ゑるは吉 △五黄● 旅行介至極の事有る日新事手控 西南は吉 婦人のせられ… △六白● 運氣よき日 [illegible]

再診療開始
昨年十一月以來出張治療中之處患者の希望に依り一月十日より約一ケ月間再び診療を開始す
痔核。痔瘻。脱肛
直腸脱。痔出血。裂痔
肛門病治療専門
京城長谷川町安東病院(電七三)内出張
院長 久枝秀喜
最新式痔疾根治注射療法參考書進呈

山縣五十雄 村上唯吉共著
富の道しるべ 價十五錢 郵税二錢

髪をしなやかに
丈長がく
美しく房々と
黒くするは
漆のやうに
廣い世界に
「ターッタ一つ」
パール
煉香油
があるばかり
……とは
パール愛用者が
おつしやる
實話であります

本舗東京 平尾賛平商店
關西代理店大阪 平尾賛平支店

內科 小兒科
京城日出小學校前
多々見醫院
入院隨意 電話九四〇番

クンセキ改良劑
呼吸器散
咳嗽喘息の最新藥、病毒を根治するを以て其効験著大なり。別に丸劑あり呼吸器丸
急性慢性のたん、せき、症に、タンを去りセキを鎮め胸を和らげ安眠の効を奏す!!
價十錢 二十錢四十錢
本舗 大阪東京丹平商會

資本金 貳千百五拾萬圓
積立金 九百六拾五萬圓
株式會社第一銀行京城支店
京城本町二丁目(振替貯金京城一一番)
頭取 佐々木勇之助
銀行一般の業務は確實を旨とし精々御便利に取扱申候
內地朝鮮並に歐米樞要の地に爲替取引先有之候

醇良清酒
仁川本町三丁目
增本酒店
電話一〇九番 振替京城六一九番

◆寶田石油株式會社代理店
◆帝國麥酒株式會社代理店
◆大日本鹽業株式會社代理店
◆再製鹽製造販賣

辰
合名會社鈴木商店京城出張所
京城本町三丁目
電話長二二九〇番、長二九二四番

辰釜山出張所
釜山本町二丁目
電話長七六二番

辰仁川出張所
仁川本町二丁目
電話長八三番、八五六番

◆原鹽直輸入販賣
◆阿里山檜材朝鮮一手販賣
◆雜穀賣買

本邦人の皮膚毛髪に適する化粧用水石鹸
○ミツワ水石鹸

MITSUWA LIQUID SOAP.
Very best materials and exquisite fragrance are blended in Mitsuwa Liquid Soap. It refreshes, invigorates and delights as no other soap can. It makes the skin soft, smooth and beautiful, while it will not injure even the tenderest skins.
Price 35 Sen and 50 Sen.

ミツワ石鹸が品質純良にして皮膚毛髪の洗滌に適し、衛生美容の資料となるが如く、◎ミツワ水石鹸も亦優良なる品質を具備せる芳香化粧料なり、從來の普通水石鹸には刺戟甚だしく皮膚毛髪を傷ふもの多きに反し、此◎ミツワ水石鹸は優秀なる原料と馥郁たる芳香料とを以て精製せられ、洗滌に際して隨意に適量を振出すことを得、他人の使用せる後にも些の不快を感ぜず、皮脂の分泌夥多に而も皮膚粗糙なる本邦人の化粧用水石鹸として、實に理想的の逸品にして、生彩ある化粧を施すに最も好適のものなり。

定價 金參拾五錢 大壜 金五拾錢

(現品寫眞圖)

芳香馥郁たる家庭用肌着香水オード、フラール
○ミツワ花の雫

EAU DE FLEURS
made from the best materials by a perfect chemical process, has a delicate and exquisite fragrance. The application of this Mitsuwa Lotion on your underwares, towels, handkerchieves, sheets or into the water when washing or bathing, will be so charmed and quite refreshed.
Price 45 Sen and 70 Sen.

優秀なる原料と馥郁たる芳香と熟練なる技術とを以て精製されたる家庭用香水◎ミツワ花の雫は、溫雅なる芳香を有し、清涼爽快の感を與ふる理想的の家庭用品なり、從來の家庭用香水には徒に强烈なる香を放ち、手巾衣服等に振掛くれば、汚點を遺すもの多きに反し、◎ミツワ花の雫は人を魅するが如き床しき溫雅の芳香を有し毫も汚點を遺す憂なく肌着、手巾、寢具の敷布等に振掛け、洗面浴槽等に用ふれば、清凉の感を得ること、本品に優るものなく、各家庭に常備すべき優良なる香水なり。

定價 金四拾五錢 大壜 金七拾錢

(現品寫眞圖)

毛髪の營養料頭髪用衛生香水ヘーヤ、ローション
○ミツワ月の雫

MITSUWA HAIR LOTION
Apply a few drops of the lotion after washing your hair, you will notice the delightful sensation of keeping your hair clean, sweet and healthy. It has a faint, yet delightful smell. It is the best lotion known to remove the dandruff, and stops scalp itching and prevents falling hair.
Price 45 Sen and 80 Sen.

從來の頭髪用香水には、毛髪を傷め又は毛根を害ふもの多きに反し、◎ミツワ月の雫(ヘーヤ、ローション)は溫雅の芳香を有し、毛髪の營養發育に効ある理想的頭髪用香水なり、優良なる品質を具備し、毛髪の衛生に適する◎ミツワ石鹸を以て、毛髪を洗滌せる後此◎ミツワ月の雫を用ふれば、爽快の感を得、毛髪の發育を助け、毫も之を傷め害ふことなく、色澤を艶美ならしめ、脱毛及雲脂の過度を防ぎ、營養を良くするに特効ある美髪料なり。故に毛髪の衛生に留意し、美髪を欲するのには、實に理想的の頭髪用香水なり。

定價 金五拾錢 大壜 金八拾錢

(現品寫眞圖)

ミツワ石鹸
ミツワ家庭藥
ミツワ椿油
肝油ドロップス
御園化粧品
發賣元 ○丸見屋商店
東京市日本橋區橋町四丁目
藥劑、滋養品、石鹸、香粧品、小間物問屋
電話浪花 自三〇、四四八、四四九、四五〇番 振替貯金口座東京七一〇〇番

京城日報
一月廿五日（夕刊と合せて八頁）
定價 一部金三錢五厘 一ヶ月金七十五錢
發行兼編輯人 奥田直毅　印刷人 小川三之介
發行所 合資會社 京城日報社 京城太平通一丁目

歐洲大戰と興亞策（三）

韓國併合と世界の大勢

小國弱邦にして強大國の間に介在し、其の獨立を維持せんと欲せば、一に外交的手段に由りて其の侵略を免るゝの外なしと雖も、一朝國際關係の破裂するに際せば、蘇張の辯も、良平の術も、終に用うるに由無く、社稷の淪胥を救ふ事能はざる也。況んや小國弱邦が己れの力を量らず、甲の強國に依賴して乙の強國を制し、其の野心を逞うせんとするものに於てをや。假りに甲の強國に對して忠勤を抽で、幸に乙の強國を制し得たりとするとも、甲の強國にして勝利を占めたる曉には、其の併呑する所と爲るを免れざるを歴史上の常例と爲す。若し夫れ乙の強國にして、其の武力甲の強國に優越するに於ては、他力主義に由りて其の野心を逞うせんとせる小國弱邦が亡國の域に陷るべきは、必然の勢也。塞耳維の如き、是れのみ。黒山の如き、是れのみ。羅馬尼の如きも亦是れのみ。前車の覆るは後車の戒なりとか。而かも吾人は歐洲大戰に由りて、面のあたり塞耳維、黒山、羅馬尼の覆轍を目擊し、未だ嘗て韓國の日本に合併したるを以て、其時宜を得たりしことを痛認せずんばあらず。由來日韓上古の關係は、兩國の所傳、共に甚しく異なりて、一事件だも殆ど其の符合一致せる點を發見し得ざるの觀なきに非ずと雖も、近代の史實的研究に據れば、韓國が立國の當初より日本帝國の羈絆に屬し、兩國の關係が強大國と弱小國、母國と姉妹國との關係たりしこと明々白々疑を容れざるものあり。素盞嗚尊天降時代に於て、韓郷を文明的に經營し、其後、更に大八洲の國に定著したる天降民族が祖國より韓半島の南部に殖民拓地して進取的勢力を扶植せしより、神后征韓に至るまで、韓半島の宗主權は、日本民族に由りて掌握せられたる史的事實に照らし、一千七百有餘年前の神后征韓より、二十七八年の日清役、三十七八年の日露役に至るまで、時に盛衰なきに非ずと雖も、指導者として、優勝者として、不斷不息の關係を有せし我が帝國が、韓半島に對し、斷乎として併合の策に出で、直接統馭の實を擧げ、入道の山河をして王道蕩々の化に浴せしめ、極東永遠の平和を確保するに至りたるは、當然の道にして、韓國の君民が野郎自大の念を擲ち、日韓兩國の歴史的關係と極東變局の趨勢とに鑑み、進で併合計畫に贊同するに至りたる所以のもの、亦其故なきに非ざる也。若し夫れ韓國併合にして行はれず、日韓の關係依然として曖昧未定の際に在らしめば、獨り日韓兩國の爲に憂ふべきのみならず、吾人は極東大局の平和の爲に寒心する所無きを得ざるを信せずんばあらず。是に由りて之を觀れば韓國併合は、韓國其れ自身の利也。日本帝國の利也。啻に日韓兩國の利たるのみならず、亦實に極東永遠の利にして、世界の利なりと謂ふも過言に非ざるべし。

鑛業の現況（八）

▽安岳鑛山

安岳鐵山は黄海道安岳郡龍門面安谷面文山面に在り、鑛業人は麻生鑛業株式會社にして大正五年一月より九月に至る鑛産額は十萬九千五百三十噸此價格二萬九千二百九十五圓なりとす

▽採鑛　前年末迄に露天に近き箇所を採掘し終りたるを以て今期に至りては全く深層部の採掘に從事す開鑿方法は鑛層の傾斜に沿ひ斜坑を開鑿し走向に從ひて左右數段々水平坑道を掘鑿し上下水平坑道間の鑛石は鑛柱式を實施し掘跡は土砂又は捨石を以て塡充し坑道の天井脆弱なる箇所は松材を以て支柱を爲す現時採掘せるは第一號山第二號山大盛坑及び第四號山にして本年七月に至り第二號及び大盛の兩坑は貫通せしを以て大盛坑の鑛石は第二號山に運搬し同山捲揚機によりて選鑛場に搬出す本年一月以降九月末迄の坑道掘進延長は約一千七百十六尺にして總延長六千二百十尺に達す第一號山及び第二號山には鑛石搬出用として橫坑及竪坑捲揚機各一臺を備へ汽罐は第一號山には徑六尺の古船用汽罐第二號山には『コルニッシュ』汽罐を据付く排水用としては第一號山は坑内水酸氣を帶び喞筒を使用すること能はざるを以て約五石入の木製水箱を以て捲揚機にて坑口迄引揚ぐ第二號山には『オシントン』型喞筒四臺を坑の内外に据付け排水に從事す

▽運搬　第一號山及び第二號山の坑内にては各水平坑道に廿二封度軌條を敷設し鑛石は約一噸積木製鑛車に入れ手押にて斜坑迄運搬し捲揚機に依り坑外選鑛場に搬出し第四號山は人力を以て坑外に搬出す各採鑛所より河岸貯鑛場に至る距離は約一哩乃至二哩にして木製一噸積鑛車約百臺を以て人力又は牛力に依りて運搬し更に貯鑛場にて人力に依りて五十噸乃至八十噸積艀船（二十隻此噸數約一千二百噸）に移積し潮流の干滿時を利用して約五哩の載寧江支流東倉河口迄運送し同所に碇泊せる汽船に移載して八幡製鐵所に輸納す役員は内地人約二十名あり鑛夫雜夫約二百名を使役せり

▽殷栗鑛山

殷栗鐵山は黄海道殷栗郡北下面道里面に在り、鑛業人は農商務省にして大正五年一月より九月に至る鑛産額は六萬一千三百五十噸此價格七萬三千圓なり

▽採鑛及運鑛　鑛山の經營は富田儀作之を擔當す採鑛は露天掘にして特種の設備なく選鑛は手選なり運搬現場より海岸金山浦迄は輕便鐵道にて搬出して同所より海路約四浬を距つる中繼貯鑛場たる青洋島迄艀船にて輸送假陸揚を爲し本船寄島の際更に艀船にて本船に移載し八幡製鐵所に送り製鐵の原料となす

▽載寧鑛山

載寧鐵山は黄海道載寧郡載寧面三支江面に在り、鑛業人は農商務省にして大正五年一月より九月に至る産鑛額は七萬三千六百十一噸此價格十四萬五千十三圓六十七錢なり

▽採鑛及運鑛　鑛山經營は西崎鶴太郎之を擔當す採鑛全部露天掘にして選鑛は手選なり但漸次底部に掘進しつゝあるを以て一部分坑道掘の方法を採用するに至るべし運搬現場より載寧［illegible］鐵道約一哩五

北滿の小麥

吉林省所轄の賓城、阿城、扶餘、同賓等を始め黒龍江省所轄の呼蘭、綏化、巴彦、海倫等は小麥の大産地にして此地方の産麥は凡て哈爾賓に移出せられそれより更に各方面へ輸出するを例とするが故に哈爾賓は北滿小麥集散の中心市場となり居るが毎年陰暦九月より翌年四月に至る間は毎一日の平均輸出入額五百貨車に及ぶといふ今此に前記諸地方に於ける最近三年間の産額表を示すべし（單位一貨車）

地方別	民國三年	民國四年	民國五年
呼蘭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
綏化	[illegible]	[illegible]	[illegible]
巴彦	[illegible]	[illegible]	[illegible]
海倫	[illegible]	[illegible]	[illegible]
木蘭	[illegible]	[illegible]	[illegible]
蘭西	[illegible]	[illegible]	[illegible]
雙城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
阿城	[illegible]	[illegible]	[illegible]
扶餘	[illegible]	[illegible]	[illegible]
同賓	[illegible]	[illegible]	[illegible]
五常	[illegible]	[illegible]	[illegible]
拜泉	[illegible]	[illegible]	[illegible]
青岡	[illegible]	[illegible]	[illegible]
通江	[illegible]	[illegible]	[illegible]
嫩江	[illegible]	[illegible]	[illegible]

右表に由りて觀れば五年の産額は前二年に三倍す尤も此等の地方は開發されてより已に久しきに及べるのみならず五年に於ける各地農作は十年來未曾有なりしを以て同年の差額を基本とする能はざるは勿論なるも其産額の逐年增加しつゝあることは疑ふべからざるべし

日報詩壇

○悲賦遠山雪　齋藤　三寅
春盤和氣靜松濤。迎旭光來意盆豪。遙望雲巖拐曳處。衝天的皪玉冠高。
評曰　詞采明麗

○春雪　直井　默齋
凍雲不散暗林岡。鈹鈹沙沙雪滿庭。猶是春寒遊客少。酒樓燈火小於星。
評曰　叙景叙情。風致有餘。

○夢富嶽　富澤　雲堂
夢訪嶽神心膽雄。金剛杖夌玉玲瓏。離塵一萬四千尺。日月星辰燦眼中。
評曰　健筆凌雲。一掃靡靡之詞

○寄懷學鷗詞宗在南鮮　圓山　牧雲
北窮長白覆峰巒。南極全羅多島灣。忘險獨縦康樂遊。文章縟想逞添彩。
評曰　揮灑雄壯。情意懇篤

▲依然下落す　▲市場閑散
米　安川期米
三月限　五萬四千六百五十石
四月限　七萬八千八百五十石

移轉廣告
今般業務擴張の爲め左記へ移轉仕候也
健康長壽 補血唯一 強精劑 高麗人蔘精 製劑元
京城府黄金町三丁目二九一
朝鮮蔘藥研究所　坂崎謙介
電話二七六八・振替京城四二〇四

◎勸業債券月賦購買者には毎月抽籤の權利ある貯金の興味あり 代理店外務員募集
日本勸業銀行債券 帝國公債月賦販賣
株式會社 報國公債朝鮮支部
支部 京城若草町百六番地　出張所 京城永樂町商品陳列館前　振替口座京城六五九番
◎恩給 年金 利子 即時立替　西村商會

ポッケット用 氷砂糖
博覽會大賞牌に金牌拾數回受領す
大一個金五錢　小一個金二錢
製造元 大阪市西區住吉橋北詰 三木治助商店 電話西二〇〇四番
全國到る處の菓子店食料品店に販賣す

塗料船具油類金物
土木工川器具及材料　兩覆天幕製作販賣　近江帆布會社製品特約店　朝鮮船燈販賣所　同製作販賣所　旗印石油販賣所
仁川本町一丁目 村谷本店
支店 仁川府支那町 村谷石炭部　平安北道義州城内 義州印刷所

優等清酒
福岡縣三井郡山川村 醸造元 富安本店
京城永樂町二丁目 發賣元 富安京城支店

鑛山營業
各種礦石買入　重石買入　▲鑛物定量分拆　▲鑛山測量製圖
京城鍾路二丁目九九番地 金石商會 電話一八九九番

銃獵の趣味
朝鮮獵友會長三島太郎君校閲　同會員 吉村青坡君著（定價四十錢）（送料二錢）
今や狩獵の好季節となれり狩獵者として必讀缺く可らざるものは本書也卷中廣く射擊、出獵、獵犬の趣味と修養、銃器の説明並に附錄として狩獵規則其他狩獵の好場所を指示し狩獵者の案内者たり是非一本を購し携帶するを忘る可ざる也
京城太平通 京城日報代理部（振替京城三〇〇番）

今般内鮮人民間有志相謀り曩に内閣總理大臣の印綬を帯びて朝鮮を去られたる前總督寺内伯爵へ記念品贈呈致度候に付同志の各位は左記事項御承知の上御贊同被成下度得貴意候敬具

一、醵出金ハ一人二圓以上五圓以下トス
一、締切期限二月二十五日
一、御送金ハ京城商業會議所原田金之祐宛ノコト
一、記念品ノ選定及贈呈方法ハ發起人ニ一任セラレタキコト

大正六年一月十八日

京城發起人（イロハ順）
石塚英藏　原田金之祐　萩谷籌夫　白完爀　西村道彦　子爵 趙重應　趙鎭泰　伯爵 李完用
岡正矣　金谷充　韓相龍　高野省三　子爵 宋秉畯　中村再造　山口太兵衞　大和與次郎
馬詰次男　牧山耕藏　古城菅堂　阿部充家　三島太郎　執行猪太郎

一ヶ年卒業
最新 書翰講義錄
會員募集
顧問 三宅雪嶺博士・幸田露伴博士・坪内逍遙博士・夏目漱石先生・芳賀矢一博士・山路愛山先生・佐々醒雪博士・巖谷小波先生
新學期 五大特典提供 此の最好機を逸する事勿れ
手紙上手とならんとせば本會に入會する 會則見本無料進呈
大日本書翰學會 東京市芝區櫻田郵便局脇
新編 古今名家書翰集 菊判半截三百頁 定價六十五錢 送料六錢 未曾有の珍書にして手紙研究上に缺くべからざる最良參考書也

S.N 國産 化學工業
新潟化學工業所 東京芝新櫻田町十七（電新一九四二）出張所

最新刊
佛敎大辭典 織田得能 特一六〇
日本帝國第卅五統計年鑑 内閣統計局 三五〇
歐洲の經濟的動員と國際金融 一〇〇
人體の現象 三浦勿太郎 一五〇
最新株式賣買 岡部驍 一二〇
鑛業法令集 中村宗元 一三〇
岡田式靜坐の力 橋本五作 九〇
大英國の表裏 早川徳次 八〇
性慾的衞生 鴨田脩治 六〇
青年活躍勇氣の修養 七〇
日蓮聖人の孝道 磯野本精 九五
身心鍛練健康法 丸山小辛 五〇
劍道極意俗解 香川翼 三五
連句入門 五〇
古今名家書翰集 六五
新撰日本名家書畫年表 矢野幹六 二五
朝鮮官吏受驗必讀 法律講義 坂上綱吉 特七五
同 法律問答 同 四〇
同 朝鮮行政法大意 安達大壽計 四〇
同 同 總論 同 四〇
同 巡查受驗提要 永野清 特四五
京城本町二丁目 電話二〇八六番 振替京城二五七三番 大阪屋號書店

國産 白檀油代用藥 ゴノサルビン
本品は白檀油と化學的集成を異にするも治療的效果は白檀油と相伯仲し副作用なき特徴を有す
白檀油の代用として好評嘖々たり
發賣元 大阪市外中津町 三友製藥會社　東京本町 大阪道修町 武田 小西

陸軍省 海軍省 陸軍大學校 士官學校 各隊將校集會所 各艦 宮室其他各學校圖書館 賜御購讀之榮
帝國國難論
法學士 衣斐鉄吉君著　菊判布裝三九六頁 定價壹圓八拾錢 送料拾四錢
歐洲大戰の原因は英獨主義の衝突に在りとは來らん世界大戰は黄白人種の爭闘なるべく本書は帝國の史的國防論に起り西力東漸の從略と支那大陸の存亡より國難の將來に及び帝國の之に處する方途として國民皆兵の家動員の準備と覺悟の絶對必要を高唱す志士須らく一本を購へ
發賣元 東京神田表神保町三 東京堂 振替東京二七〇番
發行所 東京小石川高田老松町七 目白書院 振替東京三四七七〇番

少年 二月號 少女
新年號以上の大懸賞 高評を得たる 讀者文藝募集豫告 初陣
少女 此母の子　五博士　早春
定價各十錢 送料二錢　東京 時事新報社

第卅八回帝國議會

衆議院(二十四日)

▲豫算總會

豫算委員總會は廿四日午前十一時開會寺内首相以下政府委員出席片岡委員長(憲政)開會を宣し劈頭勝田藏相は豫算案に對しては既に本會議に於て説明せるを以て茲には主として大藏省所管に就て説明せんとすと前提し其内容の數字を列擧し極めて概括的の説明をなし次で後藤内相起つて内務所管の説明をなさんとする際鈴木富彦氏(憲政)は各省の豫算は分科會に於て説明すべしと述べ後藤内相は手持無沙汰にて引き退る

△濱口雄幸氏(憲政)は質問の第一矢を放ち政府は減債基金五千萬圓を假定し且つ海軍補充費二億六千萬圓の各年度割宛額を支出すべき確信ありや具體的に明示せられたしと述べ

▽勝田藏相は政府は鐵道資金を一般會計へ融通するは穩かならずと信じ減債基金五千萬圓の計畫を樹てたり海軍補充費は將來に亙るものなれば今日的確なる財源を明示するは困難なるも政府は此の主義遂行に努力すべしと答へ濱口雄幸氏は更に藏相の説明に依れば其成案なきものと認む若し遂行出來ざる場合には漸次逓減する事ありと信じて差支なきやと質し藏相は大正六年度豫算は編成の餘日なかりし爲め大部分前内閣の豫算を踏襲せり大正七年度に至らば更に計畫を樹て得べしと答へ

濱口氏は將來增收を計らば第一增稅第二募債第三行政整理第四自然增收の外に方法なかるべし而して第四以外は悉く不可なりとせば第四は藏相の期待する所なるべし然れども大正七年度の增收は七年度に至らざれは確かならず五千萬圓償還計畫を今日樹つるは不可能なり而して歳入の增加は歳出の增加に伴ふべきを以て增收は歳出の增加に備へざるべからず之を基金償還に當つ可きものに非ざるは論を俟たず農相逓相が之を期待するは空望なりと前内閣の計畫の適當なりし所以を敷衍し更に前議會に於ける貴族院の形勢に論及し貴族院の主張の理由なかりしことを説き現閣僚の二三者は其の中心人物なりしと斷じ之に對し仲小路農相田逓相交々起つて應答し更に二三の質問を交換し正午休憩せり

午後二時十分再開 **勝田藏相**より減債基金問題につき午前の答辯を補足する處あり次で**濱口雄幸**氏は田逓相、仲小路農相の答辯を駁撃したるに兩相は又復起つて還元問題の歴史を繰り返し**濱口氏**は更に日支銀行、滿蒙銀行は昨年貴族院に於て極めて不徹底なる理由の下に否決せられたるも經濟調査會に於ては其必要を認め可決したるが政府の是に對する所見如何と訊し**勝田藏相**は滿洲に於ては現在正金銀行、朝鮮銀行活動し居れり更に金融機關新設の必要を認めざるに非ざるも既設機關の擴張にて其の目的を達せらるべし日支銀行は其の目的に於て贊成なるも今直に機關の新設には考慮の餘地ありと答へ**濱口氏**は更に鋒先を官制問題に向け政府は參政官の豫算を要求せるが今後政務官を設置するの意ありや若し其の意ありとせば事務官たる次官をして政府委員たらしむる理由如何と問ひ**有松法制局長官**は之に對して將來政務官を設くるや否やは言明し難し事務官たる次官を政府委員たらしむる事は官制に反せず殊に官制に於て經費の都合に依り之を置かざる事を得との明文ありと答ふるや此の時

▽**片岡委員長**は政友會側に質問を許さば又復政府より憲政會側に不利なる應答出づ可しと思惟し**突如散會を宣せしが政國兩黨の面々は横暴なりとし議場沸然として騷擾の巷と化し國民黨の高木益太郎氏は委員長席に詰めかけ其の不法を詰り議場混亂を極む此の時尾崎行雄氏**(憲)**の仲裁にて委員長は前言を取消し質問繼續に決し辛うじて議場靜穩に歸す三土忠造氏**(政)は日支借款に關するコンミッション問題に關し質問するや政府は秘密會を要求して**秘密會となり**其の儘散會したり時に五時三十分(東京特電)

◎奠都五十年祝典

奠都五十年祝典は七月若くは十月擧行せらるべく東京市にては右記念として市廳の新築をなすべし(東京電報)

◎大阪商船增資

大阪商船會社にては二十四日株主總會を開き年一割及び臨時二割合計三割の利益配當案を可決し尚資本金二千四百七十五萬圓を五千萬圓に增資するの件等を可決せり(大阪特電)

◎佐藤代議士逝去

憲政會所屬代議士佐藤榮右衛門氏(北海道選出)は二十三日夜宴會より歸宅後遽に發病二十四日午前逝去せり右補缺選擧は解散を控へ居る今日なれば行はれざるべし(東京特電)

◎朝鮮貿易(一) 大正五年度

一、總説

貨物と金銀地金=貿易額の前年比較=輸移出激增の原因=出入の權衡=七箇年の貿易對照

大正五年の朝鮮貿易に就きては本紙新年號に於て取り敢へず其の概況を敍述せしが更に總督府度支部調査に係る詳細の狀況左の如し

大正五年の朝鮮貿易は產業の發展時局の影響其の他一般財界好景氣の反影等に因り空前の盛況を呈せり即ち

貿易額一年比較表(圓)

		大正五年	大正四年	增加額	增加歩合
貨物	輸移出	五六、八〇一、九三四	四九、四九二、三二五	七、三〇九、六〇九	[illegible]
	輸移入	七四、四五六、八〇五	六〇、一九九、三五七	一四、二五七、四四八	[illegible]
	計	一三一、二五八、七三九	一〇九、六九一、六八二	二二、五六七、〇五七	[illegible]
金銀地金	輸移出	一五、六五四、九三三	一一、三七一、二一四	四、二八三、七一九	[illegible]
	輸移入	一、二九三、二九四	二二三、九六〇	一、〇六九、三三四	[illegible]
	計	一六、九四八、二二七	一一、五九五、一七四	五、三五三、〇五三	[illegible]
合計	輸移出	七二、四五六、八六七	六〇、八六三、五三九	一一、五九三、三二八	[illegible]
	輸移入	七五、七五〇、〇九九	六〇、四二三、三一七	[illegible]	[illegible]
	計	一四八、二〇六、九六六	一二一、二八六、八五六	[illegible]	[illegible]
輸移出超過額		(入超)三、二九三、二三二	(出超)四四〇、二二二	[illegible]	[illegible]

▲貨物に在りては輸移出五千六百八十萬一千九百三十四圓輸移入七千四百四十五萬六千八百五圓計一億三千百二十五萬八千七百三十九圓にして大正四年に比し輸移出七百三十萬九千六百九圓(一割五分)輸移入一千四百廿五萬七千四百四十八圓(二割四分)計二千二百五十六萬七千五十七圓(二割一分)の孰れも增進を示し▲金銀地金に在りては輸移出一千五百六十五萬四千九百三十三圓、輸移入百二十九萬三千二百九十四圓、計一千六百九十四萬八千二百二十七圓にして大正四年に比し輸移出四百二十八萬三千七百十九圓(三割八分)輸移入百六萬九千三百三十四圓(四倍七分)計五百三十五萬三千五十三圓(四割六分)孰れも增加し、敍上貨物及び地金銀を合せる▲總貿易額は輸移出七千二百四十五萬六千八百六十七圓、輸移入七千五百七十五萬九十九圓、計一億四千八百二十萬六千九百六十六圓に達し之を大正四年に比すれば輸移出一千百五十九萬三千三百二十八圓(一割九分)輸移入一千五百三十二萬六千七百八十二圓(二割五分)合計二千六百九十二萬百十圓(二割三分)の增進なりとす今之を表示すれば左の如し

前述の如く本年の貿易は前年に比し出入とも著しき增進を示せるが更に之を既往數年の貿易に比較すれば增進の程度一層顯著にして試に輸移出入總額に就き比較すれば本年は明治四十三年即ち併合當年の二倍二分を示し近く大正元年に比するも尚ほ四割七分の增進なりとす、而して之を出入に區別して觀察せば兩者とも增進を示せりと雖も就中輸移出の增進特に目醒ましきものあり即ち本年の輸移入貿易は四十三年に比すれば一倍九分を示せるも大正元年に對しては僅かに一割の增加に過ぎざるに反し輸移出貿易に在りては實に四十三年の二倍四分大正元年の二倍三分に當れり、蓋し併合後政府の產業上に於ける諸般の施設奬勵は民間の經營と相俟つて漸次其の效果を輸移出貿易上に表現するに至れるものにして兩三年來頓に膨脹の機運に向へるは貿易上彰著なる事例たり、次に

▲出入の權衡を見るに前年出超を得たるに反し本年に於て三百二十九萬三千二百三十二圓の入超を示せるは畢竟本年の貿易が前年に比し輸移出よりも輸移入に於て增進著しかりし結果なり由來前年の輸入貿易たるや時局の影響、鮮人購買力の減退等に基因し特に不振なりしものにして以て常態と目す可からざるのみならず、本年輸移出品の大宗たる米は相場の不引合と船腹缺乏の爲め出荷を阻害せられ五百餘萬圓の出減に終りたること等の事情に想到せば如上少額の入超は寧ろ順調を以て目す可く更に之を大正三年以往の著しき入超に比較するときは朝鮮貿易の趨勢は年々堅實なる發展の經路を辿りつゝあるを推知するに難からず、今併合後各年の貿易額並に出入の差額を對照すれば左の如し

貿易額七年對照表(圓)

	輸移出	輸移入	合計	出入超過額
大正五年	七二、四五六、八六七	七五、七五〇、〇九九	一四八、二〇六、九六六	(入)三、二九三、二三二
大正四年	六〇、八六三、五三九	六〇、四二三、三一七	一二一、二八六、八五六	(出)四四〇、二二二
大正三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	(入)[illegible]
大正二年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	(入)[illegible]
大正元年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	(入)[illegible]
明治四十四年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	(入)[illegible]
明治四十三年	[illegible]	[illegible]	[illegible]	(入)[illegible]

備考 本表は金銀地金を含む

◎地稅徵收成績

大正五年十二月末現計に依る大正五年度第一期地稅徵收成績左の如し

▲地稅 調定額四百九十四萬五千六百六十二圓に對する收入濟額四百八十三萬千二百五十五圓にして未濟額は十一萬四千四百七圓に過ぎず調定額一千圓に對する收入歩合は九七六圓を示せり

▲驛屯土 調定額百五十五萬七千九百八十五圓にして百四十七萬千五百七圓を算し八萬五千百二十二圓の未收入額あり調定額一千圓に對する收入歩合は九百四十四圓に達せり

◎重石界愈沈衰

朝鮮重石界の近狀を聞くに其の價格は昨秋の下落時代と大差なく六十五パーセント以上の極上品は一噸千八九百圓普通品千三四百圓なるも何分本邦にて敵國に入るを恐るゝ爲め重石輸出を一々許可主義により取締り居る爲め最近に於ける重石の輸出は頗る微々たるものあり然も內地に於ける需要は枝光製鐵所の一月百噸に過ぎず而して其の供給は內地品にて略ぼ間に合ふ爲め朝鮮產重石の捌け口は目下の所殆んど杜絶の姿にありと云ふを妨げず故に近時も地方よりの出廻は相當の額に達するも買手多く手少なき現狀にてブローカーは手持品多き模樣なるが目先き平和の恢復か輸出の解禁かなき限り其の狀況の盛返しは困難なるものゝ如しと

◎朝鮮大阪貿易

一月中旬に於ける大阪朝鮮貿易は輸移出二百二十四萬三千圓輸移入百二十八萬八千圓にして差引輸移出超過九十五萬五千圓を算したるが上旬以降の累計輸移出超過は百二十三萬六千圓に及べり尚ほ輸移出金銀は六十五萬五千圓に達したりと

◎昨年下半仁川財界

龜島鮮銀支店長の昨年下半期間に於ける仁川一般經濟概況を聞くに

仁川經濟界の狀況は初季は端境期に於て商況一般に閑散なりしが後半に入りて母國に於ける貿易は時局の影響を承けて益順調に推移し米價亦急騰を告げたるに由り當地商況も遽かに回復し活氣を加はれり而して此間に於て貿易の膨脹資金の需要增加及び講和提議の影響等種々財界の變調を顯出したり

▲產業 精米は季初め阪地の米價不味にして僅に滿洲北支那山東方面の輸出を持續したるに過ぎざりしを以て精搗は一般に手控へ勝ちなりしが歲末阪地相場の昂騰するや注文頻到して斯業は俄に繁忙を極めたり再製鹽業は秋季需要季に際會したると神戶鈴木合名會社の嘱目始業せると浦鹽方面に販路を開拓をなせる等好況を呈せり水產業は出漁季は偶ゝ虎疫發生し魚類の賣れ行激減せし爲め水揚著しく減少せり其他酒醬油釀造業は內地の成績良好ならざりしに反し品質漸次に向上し滿洲露領等に販路を擴張せり

▲穀物集散 米豆は前年に相違して豐穰を告げ搬出は氣候其の他の關係にて例年より稍出遲れたるも歳末に近づくに從び廻送は漸增し期米倉庫收容力二十萬個なりしが本年は比七萬個增加し前年同期に在庫は二十五萬個にして當港從來の倉庫の收容力は十萬個の新設稅關倉庫の開放に依り更に十萬個の收容力を增加し滯貨著しきに拘らず幸に全く之を收容するを得たり

一方內地米界は期末氣配反撥せるに依り買注文輻輳し移出好調を呈し船車の缺乏を示すに至れり即ち滿洲北支那行精白米の積送は順調なりしも內地行き倍加は常に五萬個を下らず一時滯貨急増問題として臨時船の廻航を重ねて其救濟を圖り鐵道も亦驛の滯貨を緩和する爲め積送に努め常に滯貨減少の傾向を生ずるに至れり

▲貿易 本季の貿易は前年同期に比し輸出入共に增進せり即ち輸出に於ては大宗たる米の內地移出十月半まで不振裡に在りしも支那方面に輸出せられたるものも頗る多く更に歲末に殆んど閑却せらるゝの狀態なりしが秋以來阪地綿絲布奔騰し鮮滿移出は約四十萬圓の增加を見たり輸入は初め出廻りたる人蔘の輸出は移出も急增を來し大豆も亦豐作出增し品切的先高を見越し移入旺盛を極め半皮は出廻りたるも人蔘の輸出は年末其他七月限定期受渡米として始めて肥後玄米の移入を爲せる等要するに輸移入は戰亂の影響により變態的に膨脹せり即ち

	本年下半	昨年下半	增加
輸移出	[illegible]	[illegible]	[illegible]
輸移入	[illegible]	[illegible]	[illegible]
計	[illegible]	[illegible]	[illegible]

▲金融 當期間に於ける金融の大勢は概して緩漫なりしも年來は出穀季に際し頗る緊縮を示せり

即七月は前季末需鞴の後を承けて定期取組高增加し貸米受渡四萬八千石を算し受渡資金の大口移動多かりしも八月の商況一般に閑散なりしを以て著しき資金の需要なく平凡に推移せり九月に入り內鮮米の收穫豫想は平年作以上を唱へて米價軟弱に傾けるに反し輸移入綿絲布は米綿不作印度南洋輸出の好望に相場は益騰貴して底止する處を知らず思惑移入熾烈にして取立手形は一時に輻輳し移入商は仕拂資金の調達に忙しく月央より發生せる況致も月末落付して一般景氣は銷沈の氣味なりしに止り綿布相場は十月更に狂奔し十一月內地米界亦急騰するに至り新穀廻着と相俟つて移出好況を呈し久しく沈衰せし穀物界は茲に始めて好調に轉じ米豆の買出資金は著しく喚起せられ殊に補助貨の缺乏極點に達せり

歲末の米界斯の如く好調なりしも船車の缺乏運賃暴騰等多種の困難を來し買出著しく手控へられたるも資金の固定を來し移入商は綿布雜貨の暴騰にて少からざる利益を得たるも奧地資込み之に伴はず金繰繁忙を呈せり之に反して地方は米豆商の回收極めて順調に行はれ最近講和提議の如き力增進せる爲め資掛手形の回收極めて內地株式暴落して再度の立會停止となり延いて餘波は綿糸米穀に及ぼし財界混亂を呈せるも當地は何等支障無く一般商況は先づ好景氣と謂ふ可し年末決濟も繁忙裡に越年する事を得たり(仁川支局)

◎仁川滯穀減少

仁川に於ける最近の米穀停滯量は約十萬五六千石位にて漸次減少の趨勢なるも舊臘以來大阪市場の米相場は滯貨激增の結果低落を來し當地の値と出合はず其結果仁川搬出も激減するに至りしが最近に至りては更に甚しく從つて定期臨時船共に仁川より搬出閑散を極めつゝ有り船會社にては大正四年末及び昨年二月頃の經驗に鑑み既に斯くあるべきを豫想し繰に就いては愼重の注意を拂ひ居たるを以て積取貨物遙かに減少したりとて何等驚くに足らざるも斯の如き狀態のまゝ米穀の移出捗々しからざる場合は獨り仁川當業者の損失のみならず市況の不振奧地金融の不況を免られざる可し搬出貨物の大勢以上の如くなるを以て大阪商船にては下旬仁川入港の豫定なる日運丸を大連へ直航せしむ可く其他濟州大智須磨等の定期船も仁川よりの積取高は極めて少數なる可きを豫想しつゝ有り(仁川)

◎慶北鰊大漁

慶尙北道浦項にては二十日來鰊の大漁あり二十三日總督府入電に依れば其の漁獲高三千同價額二十四萬圓に達し本年最初の豐漁なりと

◎釜山舊臘檢米

慶尙南道米穀改良組合十二月中に於ける檢查の成績は數量米十五萬三千八百八十八叺、大豆一萬五千九百六十五叺にして之れを前月に對照すれば總數に於て一萬二千四百三十二叺の增加を示せり而して米は三萬六千三百五十叺を增加し大豆は二萬三千九百三十八叺の減少なりとす斯く米の前月より增加を視たるは例年の出穀時期なると亦一面には十一月以後同月に入り米價の昇進を來したる結果にして日本內地移出も大に增加を見るに至れり然れども中旬以後は汽車汽船便共に大滯荷の影響により米豆共に日本內地の買注文に應じて之れを輸送する事能はざりしより上半月に比すれば下半月は其數も亦減少したるものなりとす而して其檢查成績を視るときは稍々良好なるものあり其夾雜物の步合を示せば左の如し

十一月中 夾雜物の步合各檢查所平均 上格米百分の二、七二 下格米百分の五、二〇
十二月中 上格米百分の二、二七 下格米百分の二、五三

斯の如くにして上格、下格共に大に改良の進歩を示したるものなりとす然りと雖も茲に多少の遺憾なきを能はざるは米質にして前月中の出穀米と本月の出穀米と比較するときは別に品質に於て劣ると云ふに非らざるも改良種と在來種との混合せるものの多き嫌なき能はざるものにして之れ等は畢竟在來種は刈入遲き爲め前月に比し本月に多き混合を來したる故ならんか然れども其調製上に於ては前記の如き比例を出し居るを以て向上したるは疑ひなく又た乾燥に於ても自然の結果とは云へ漸次良好に赴きつゝあり大豆に於ては前月に比し前記の如き減少を示したるは既に出廻り時期の經過したると亦年末に至りて漸次相場の下向したるとによるものなり檢查成績に於ては前月と大差なきも出穀少數にして且つ賣急がざる結果として多少良好なり(釜山)

◎鑛業會發起人

朝鮮鑛業會の設立計畫に就いては既報せしが右發起人は相當基金を醵出する朝鮮に於いて鑛業を經營しつゝある內地富豪及び在鮮の主なる鑛業家にて目下確かなる所二十六七名に及ぶべく又官吏を發起人中に加ふるや否やとの問題は講究中の如きが官制其他の關係上不可能なるべし又會員は鑛業に從事するもの並に鑛業に特志を有するものとし朝鮮人も包容する由

◎法院出張所改正

地方法院出張所の名稱位置及び事務取扱區域表中改正の件は一月二十五日附府令を以て發布せられ即日より施行の事となれり

◎司法定員改正

裁判所及び檢事局定員表中改正の件は一月二十五日附訓令を以て發布即日より施行の筈なり

◎中旬鮮鐵收入

一月中旬に於ける鮮鐵收入を聞くに客車收入十二萬一千三百七十七圓貨車收入十三萬零二百六十八圓合計二十五萬一千六百四十五圓にして前年より約四萬圓を增加し一日一哩收入は二十三圓六十錢を示せり

◎客年全北漁況

群山朝鮮水產組合全羅北道支部管內に於ける客年漁況成績を聞くに群山近海內地人通漁船五百五十五隻其漁獲高十九萬二千六百三十七圓內地人移住漁船百十隻其漁獲高四萬七千六百六十八圓漁獲高合計二十四萬零二百九十五圓にして大正四年に比較するに從漁船數に於て五十一隻の減少を見たるも漁獲高に於て五萬三千九百十二圓を增加せり鮮人側漁況は全北管內漁船百八十五隻其漁獲高三萬八千五百五十七圓管外通漁船二百六十八隻其漁獲高五萬九千零九圓合計從漁船四百五十三隻漁獲高九萬七千六百六十六圓にして大正四年と比較し從漁船二百隻を增し漁獲高六萬八千六百十二圓の增加を見たり、亦た於背島近海に於ける漁況成績は內地人通漁船十隻其漁獲高二千八百十圓移住漁船二十一隻其漁獲高六千六百二十二圓漁船合計三十一隻漁獲高合計九千四百三十二圓にして鮮人全北管內漁船八十一隻其漁獲高一萬三千七百三十八圓管外漁船二十隻其漁獲高一千五百八十五圓漁船合計百一隻漁獲高合計一萬五千三百二十三圓なりと(群山)

◎向井氏の挨拶

在東京芝白金猿町九十八番地向井巖氏は今般病氣の爲め平壤覆審法院檢事長を辭したるに付各方面に對し挨拶狀を發したり

◎辭令

一月二十二日附を以て左の通り辭令ありたり

朝鮮總督府遞信技手 中田千秋
敍高等官七等(十一級俸下賜)

人事消息

▲岡田榮氏(騎議士) 東上中の處二十四日午後九時歸京
▲岩井長三郞氏(土木局技師) 二十五日東京發木京都名古屋新潟地方へ出張
▲佐藤剛藏氏(京城醫學專門學校教授) 同上
▲高橋貞一氏(東拓鎭南浦出張所長) 二十四日朝退京
▲吉野眞澄氏(桑港在米同胞朝鮮拓殖組合土地調査委員) 同上
▲杉村大郞氏(覆審法院檢事) 同上
▲佐々木清綱氏(騎議士) 二十三日夜退京
▲石川登氏(具城金坑技師) 同上
▲齋藤恒三郞氏(山陽皮革重役) 同上
▲大隅邦雄氏(盤龍製粉重役) 二十四日夜入京朝鮮ホテルへ

■南言北語■

▲紐育のマリユーアと云ふ雜誌記者は妙な試驗をして物議を惹起した其の試驗と云ふのが又た頗る奇抜だから面白い▲其れは米國知名の男女各五十人宛に何かの相違であつた樣にして一弗宛の金を送つた▲すると其の內で女三十三人男三十一人丈は此の一弗を送り返して來たが殘りの男女は默つて受取た▲其處で此の殘りの無禮失敬を極め込んだ男女三十六人は自分の受取るべき理由のない金を默つて失敬した事になる▲記者は之れを實例として世の中には正直者許りはないと云ふ論文を書いた▲つまり記者は三十六弗の資本で之に幾倍かの原稿料を儲けた譯だ▲問題は此の樣な方法で世人の正直不正直を試驗するのが好いかと云ふ事になつた▲人間は正直な者を確信して居る米國人は斯んな方法で人他の弱點を暴露されるに對し大に憤慨して居る相な▲日本でも斯う云ふ方法で世人の正直不正直を試驗したら何んな結果が現はるゝのだらう一番やつてみたいものだね▲戰爭の影響で米國の軍需品製造業は非常に發達して鋼鐵王シユワップ氏が社長をして居るベツレヘム鋼鐵會社なども今日では獨逸のクルップ工場よりも五割方大きくなつて一ケ月に砲彈百萬發の製造が出來る相な▲今に米國海軍に供給する爲十六吋砲を製造する必要の場合には何時でも政府の云ひ値で政府に賣り渡すとシユワップ自身が云つて居るとは驚く矢つ張り何と云ても米國は大きい

◎委託金の費消 元山旭町三…を委託せられ…債券證書及び同人の委任狀を携へて入京し同月十九日林…

◎牛皮泥棒 高陽郡延禧面大峴里居住洪聰天(二八)は昨年十二月二十…めに一月五日夜も同樣三枚(九十圓)を窃取し之を携へ市中を徘徊中を…目古賀某方にて…したるを手初めに…て其筋に引致中のところ取調の結果同人より…棚外四十一種の器具を借…場生れ左官職明石龜吉姉すゑ(三七)は…れ目下取調中なり

◎暴風警報(二十四日午後九時發表) ▲風勢…

行するに際し本町四丁目佐山松治より京城西小門町居住支那人林炳元に貸付けある二百二十圓の貸金取立方
悉く横領消費したる爲め源之助は此程龍山警察署の手に逮捕され目下取調中

倉庫に忍び込み牛皮三枚（九十圓）を窃取し朝鮮皮革會社竹添町牛皮取扱所に八十六圓餘に賣却したるを手初

●釜泥　京城中部楽野町生れの佐藤仁三郎（三）は前科一犯あり一月十三日明治町一丁目税關倉庫燒失に際し放火嫌疑者として

▲（三）能く盗む　町運送業佐々木庄太郎氏は奄膿滿州（十六圓）を借用中同年六月中横領して十圓に入質したるを手初めに其後

局へ送られたり

●呆れた厄介者　福岡縣小倉市古

介になり居る中金二圓餘を窃取して逃走したるが二十一日仁川署に捕はる

●學校から家庭へ（二）

一般社會では左程迄に氣が著いて居らぬが小學校の下級生徒の心理現象程社會の美點なり缺點なりを反映する者はない、例へば朝鮮に於ける在住者に

◇永住的觀念が無いと兒童も無自覺の裡に我々は淳を逐うて居ると言ふ考へが思想の核心となつて、態ては學校を愛せず、教師に懐しみが無く、朋友に對しても極めて友情が冷淡である、更らに甚しいのになると

◇一般社會が餘りに唯物的になり巧利的になつて居る結果兒童迄がさう言ふ傾向を帶びて聞く者をして冷汗を催させる様な事を平氣で口にする者がある

◇甚しい例を擧げると僕の處では二圓の組合費を納めて居るが君の所は五十錢であるなど、言つて貧困者の子弟を虐める者があるが此れなども保護者が平常兒童の前で組合費云々と言ふ様な話をして聞かせるのに基因する

◇物質萬能の弊も斯様に無邪氣な兒童の腦裡に迄影響すると言ふに至つては寧ろ怖る可きであらうと思ふ、一般兒童を農村の子弟に比較すると其の智識は世界的であり常識的である事は贅言を要しないが

◇其反面には前記の如き惡思想を培養されて居り輕佻浮薄で物事に飽き易く農村の兒童の如く純朴質實眞摯の風が薄い様である此外缺點のみを列擧すれば頗る多くあるが要するに兒童は一般に所謂殖民地風なる者に大分影響されて居るから

◇此の弊風を陶冶改善して行くと言ふ事は教育上最大急務であると共に家庭は學校教育のみに信賴せず學校も家庭との連絡を無視せず唇齒輔車の關係を以て內より外より絶えず教導保育してこそ眞の

◇國民教育が完成されるのである、今新入學の時期を目睫の間に控へて居る好時機を捉へて聊か私見を述べて家庭と保護者と社會に眞の自覺を促したいと思つて居るのである、次に

◇新たに兒童を入學させんとする保護者に對し希望したいのは仁川小學校は新學年からは千七百名三十學級もあつて教育上の理想から謂へば學級編成に聊つて兒童數の多きに失する、殊に尋常一二年の如き下級は、

◇一級六十名乃至七十名を降らないと言ふ風であるから自然受持教師も手が廻り切れない其の結果注意力の散漫な兒童は手の施す術も無い程喧騒して教師をして竊かに悶々焦燥の果は泣かしめる様な事がある此んな具合で

◇入學當時は兒童の個性も家庭にだける境遇もしつくり呑み込んで置いて個性に應じた教育を施すと言ふ事は到底期待し得ぬ事であるから出來得る限り新入學當時は

◇學校參觀に來て兒童の性質とか生活とかを詳しく教師に語つて貰つたならば非常な效果を奏する事と思ふ云々（中島仁川小學校長談）

●慘たり、千人の寢棺

其刹那、軌道を坑に横へて土を盛つた

撫順大山炭坑爆發慘狀視察

此の二十日に私は爆發お見舞ひの爲めに撫順に參りましたあちらに著くまでは爆發した大山坑の附近は定めて光景慘澹鬼哭啾々として悽氣人に迫まるであらうと思つて居りましたが實際に行つて見ますと想像して居つたのとは全く相違して

▽たゞ以前參つた時と違つて居つたのは坑口が封鎖され事業が休止されて居ると云ふ外に何の變つた事を發見しませんでした炭鑛所長の談にも損害は案外に尠く世間で傳へるやうに甚だしい物ではないがたゞ遺憾に堪へないのは爆發と同時に約一千の人命を坑內に失つた事であると申されました密閉された坑口の傍に立つて見ると

▽此の足の下に九百何十名かの生々しい健骸が重なり合つて慘死を遂げて居るかと思ふと物凄い感じが致しました坑內で慘死した內地人は十七名で夫等の遺族に對しては既に夫れ〴〵能ふ限りの扶助手當を濟したが九百何十名かの支那人勞働者に對しては坑內を改めた後でなければ手の附け方が無い、支那坑夫は多く

▲山東省あたりからの渡り者で家族携帶の者などは殆ど無く遺族の尋ねて來る者も殆ど無いと云ふ如うな有様で坑內で死んで居ると人數もほんの概算で爆發當時逃出した者も平氣で直ぐに他の坑に働いて居ると云ふ有様であるが鑛では能ふ限りの慰藉を與ふる計畫で遭難者の遺族に對しては五十圓以上の扶助料を與へまた

▽死體の葬儀は滿鐵にて執行する事となつた、目下一千人の遭難者を收容すべき寢棺を造つて居るが隨分物々しいものです、その上支那人は火葬する事が能きぬから埋葬地として一人一坪宛の土地をも買入れて夫れ〴〵準備を整へて居ります、爆發當時の模様を聞きますと突然の大爆音と共に猛炎が櫓の上まで突き登り

▽天をも焦す許りに一時は皆な呆氣に取られて居つたが兎に角應急手段として坑口を密閉する事となり撫順驛から貨車で軌條を運搬して來て坑口に渡し其の上に土を覆ぶせるのであるが多來の嚴寒の爲め地下數尺の深さに凍結して居るので如何ともする事が能きなかつたが恰度坑の近くに五百坪許りの安全燈倉庫が有つたので其の土間の土を掘り出して

▲漸く坑口を密閉したが此の際には滿鐵社員は誰彼れの差別なく一生懸命に鶴嘴を揮つて土を起したそうです、坑內は其後時々温度を計つて居りますが密閉した當時華氏の二百度であつた坑內が二十日には百五十度に降つたから此の向きなれば坑內の冷却は意外に成績好く

▽本月末にもなれば普通坑內温度の華氏八十度に降る見込みだそうですがそうなればすぐ坑口を開けて作業に着手し本年中には採炭の運びに至るであらうとの事です、石炭の拂底を告げて居るのは爆發の爲めではなくて寒氣の爲め貨車の故障が頻りであるのと

▽滿鐵地方も平年より寒氣烈しく各地方の需用盛んの爲めたのですが今度毎日百五十噸宛入荷する事に成りましたから多少は需用を充たす事が出來ませう（高木三園翁談）

●江華島仁川間の遞送開始

江華、喬桐は先般來結氷の爲め朝鮮郵船會社汽船寄港せざるを以て右兩地發着郵便物は永登浦より吾羅里を迂回し通津、江華間を渡航遞送しつゝありしが本月六日より一時此兩地間の渡航も不可能となりたれば仁川郵便局に於ては特に同局所屬小蒸汽船辰丸を使用し仁川、江華島間の連絡を取り二回郵便物の遞送を爲し其の內通津、江華島間渡航復舊せしを以て再び吾羅里迂回遞送しつゝありしが兩三日前より又も右兩地間結氷の爲め渡航不可能となれり依て仁川局は廿五日より滿潮を利用し再び辰丸使用仁川、江華島間の遞送を開始することゝなしたる由因に喬桐は江華を經て遞送せらるゝ筈なりと

女學生の氷見物——漢江にて二十四日

●氷の上でお辨當、滑て轉んで

樂しい午後を過した高等女學校生徒

南山高等女學校生の六百名は四温の廿四日漢江に遊んだ、學校を出たのが午前十時半、道は漢陽公園下から三坂通、練兵場にとつて

◆暖かさうなマント の生徒は長い〳〵行列で新龍山に出た、かくて鐵道官舍の踏切から廣い漢江の砂原を見渡した時、南山の方から午砲がなつた、一同が鐵橋の上江鷺梁津の高かい煙突に向つた河畔に起つてゐると先發の人夫が暖かい薪を燃やしてゐたが日が暖かいので甚だ不熱氣、めい〳〵氷の上でお辨當が開かれると體操の

◆先生が大きな聲で 『これから暫く隨意に遊べ!!』と見れば廣い河面は尺餘の堅氷で下の流れは時々メリ〳〵ゴロ〳〵と物騷な音を立てるがこれはチツト心配なしとのこと、上手な人はツロ〳〵下駄のまゝで氷上をスイ〳〵と滑り出す下手な人も尻餅をついてキヤツ〳〵云ひながら滑り出す、男の先生では渡邊外生がスケートで轉ばれるので

◆その度毎に笑ひが どよめく、女の先生では茂木先生や三木先生が巧みにスル〳〵と滑走されるニ三人手を組むで滑る人、五六人で走る人、橇に乘る人、鬼ごつこする人、さしもに廣い河の面も一時は可愛らしい子供に埋められた、かくて一時間の後午後一時半、運動をやめて學校に歸つた、中には對岸の鷺梁津の子供から借りて來た

◆橇を溫和しく向へ返しに行く人もあつた、河畔からは全級のお友達が金切聲をあげて聲援した、歸りにはまた守島先生が生徒を集めて『此の新らしく出來る橋梁は石柱の數が七つあつて

◆一つ〳〵の距離が二百尺あります…』とお講義が始まつた、日が暖かいので汗をふく人もある、お下げの人は『ほんとに面白かつたわね!!』

●大工上りの大賊捕はる

廣島市大須賀町生れ住所不定の大工杉山信太郎（三）は昨年十一月十一日午後三時頃龍山漢江通松江某方家人の不在中合鍵を以て懸金を取脱して侵入し黑羅紗マント外一點（十圓）を竊取したるを手初めに同様手段を以て十二月二十一日迄に京龍仁の三地に亙り前後十五回に亙り內地人宅專門に竊盜を働き其筋の手に捕はれ此程京城地方法院にて懲役二年六箇月の處分となれり被害者及び金品次の如し

▲龍山漢江通藤田毛布（三圓）▲同榮町酒見袷一枚（八圓）▲仁川山根町山下衣類五點（五十圓）▲京城初音町淺野衣類五點（十五圓）▲吉野町二丁目成尾衣類等四點（十三圓）▲南山町三丁目千々岩衣類三點（三十圓）▲旭町本多衣類一點（六圓）▲本町五丁目宮毛布外二點（七圓）▲龍山漢江通岩崎毛布（三圓）▲漢江通岩永マント（十六圓）▲三坂通山本衣類六點（三十圓）▲初音町國塚衣類等（六圓）▲本町五丁目福島衣類八點（三十二圓）▲南山町二丁目齋藤衣類十一點（百餘圓）

●虎疫に四千圓 歳暮に米十石

京城市外高陽郡龍江面東幕上里資産家許允默氏は昨年十月中同里に虎疫發生したる際及び同十一月居村の觀覺橋の修築の際等に約四千圓を支出して公共事業に寄附したるものなるが今回は舊正月に際し面內居住の細民に對し白米十石を歳暮の進物として寄贈したき旨所轄東湖憲兵派遣所に申出でたりと依つて憲兵所にては舊年末迄に細民の調査を爲し其れ〴〵配布の便宜を與へたりと

●駐滿守備隊耐寒行軍

獨立守備隊第四大隊は連山關より東方二十里なる賽馬集迄五泊の豫定にて耐寒行軍を行ふに決し安東守備隊第四中隊は井上大尉引率の下に二十四日連山關に向ひたるが二十五日同地に於て大隊の編成を終へ二十六日出發の筈なり（安東特電）

●一軒家の火事 家族三名死傷

忠北丹陽郡大興面斗音洞農金七奉方溫突の焚口より八日午前二時頃發火し居宅草葺一棟を燒失して同四時頃鎭火せり同家は同面劍山里山間の一軒家にして隣家迄に約一里あり熟睡中發火したるものにして七奉母（四）は辛くも脱け出でたるも是亦大火傷を負ひたるが此の火災を誰一人知るものなく十四日午後一時頃里長が發見したる上所轄憲兵所に申告したる次第にて目下憲兵出張取調中なりと

●共謀して強奪

慶北梁山郡生れ尹相業（三）全海郡生れ金慶祚（三）外一名は達城郡多沙面文陽里木綿行商李丁奭（三）が一月六日亀浦市場にて木綿を仕入れたるを探知し同人に對し木綿を買ひ受け度きを以て自宅迄屆け呉れと欺き四名にて打連れ同夜九時頃東萊郡左耳面華明里洛東江の堤防に差蒐りたる際三名の賊は豫て諜し合はせゐたることゝて突然丁奭一人を三人掛りにて縛り上げたる上暴行を加へたる後同人携帶の現金一圓三十錢及び朝鮮木綿八匹外二點（二十三圓餘）を強奪して逃走したるが前記三名の賊は此程東萊署の手に逮捕されたり

●油斷のならぬ乘客

列車內の金庫から金を竊取す

二十日午後十二時半元山驛著の永興發一番列車が箭灘文川間に於て乘務員携帶の金庫內に在りし乘車賃金を何者にか盜まれたる事を文川驛に到著と同時に發見せしを以て乘務員は早速文川驛長に申出で何分列車進行中の仕事なれば必ず乘客中に犯人あるべしと嚴重警戒を爲し一方元山驛到著の際取調べ方を依賴し來りしより同列車元山到著と共に出張せる刑事は乘客中の一鮮人金道信が如何にも擧動不審なるを認め早速取調し發見し直ちに引致せり同人は乘務員が金庫を二等室內に置き三等室內に立籠りより乘車の客に對し切符發賣中折から二等室に人無きを幸ひ入り込み盜み出したるものなりと

●聾、獨身、火事

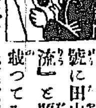
二十二日午後十一時五十分高陽郡漢芝面下往十里趙潤甫（五）方溫突の焚口より發火したるより往十里憲兵出張所員消防組及び里民駆付け消防に努めたる爲め延燒なく同家一棟を全燒（損害約三十五圓）したるのみにて午前零時二十五分鎭火せり趙潤甫は老衰且つ聾者にして家族なく獨身生活中なりしが出火の爲め手足に火傷したるも多分生命には別條なかるべく目下隣家にて加療中

●醉泥から凍死

二十三日午後九時頃高陽郡龍江面東幕下里の路傍に年齡五十歳位住所氏名不明の乞食體朝鮮人一名凍死し居るを里民が發見し京城分隊東湖派遣所より係員出張檢視せしが泥醉の後行倒れて遂に凍死したるものゝ如く屍體は引取人なき爲め面事務所に引渡し埋葬せしめたり

◉兩檢事の送迎會

仁川倶樂部にては二十五日午後六時より仁川ホテルに於て今回仁川支廳檢事より大邱地方法院檢事に轉任せし長尾檢事の送別會其後任平山檢事歡迎會を兼ね開催すべし



▲早稻田文學の新年號に田山花袋作『長流』と題する小説が載つてゐる▲其の梗概は平北江界の守備隊長たる一少佐が、妻の父親の重病と云ふ報に接し其の見舞ひと戀しひ妻子に會はんが爲め▲江界から夜道十三里を滿浦鎭まで騎馬で出でそれから四日もかゝり便船で鴨綠江を新義州に下つて行き妻子のゐる弘前に直行すると云ふのだが國境方面に於ける地方色も一寸出てゐるし、平北奧地の交通不便、其の不便な所に入込んでゐる內地人の有様などが面白く書かれてゐる▲所でどうも其の主人公は花袋子の令弟江界守備隊長歩兵少佐田山富彌氏らしい、そして此の富彌氏は兩三年前大尉で龍山に駐劄してゐた事があり節發頭病にかゝり全身の毛が全く脱落してゐるさうな▲尤も此頃は脱けた毛も新らしく生へたと見ね、『長流』には脱毛者の悲哀と云ふやうな事は書いてない

新刊
書名　著者　定價
安心生活　推尾辨匡　一、二〇
大英國の表裏　早川德次　八〇
一兵卒の銃殺　田山花袋　一、〇〇
本朝名家詩文　岡田正之　一、五〇
クオレ物語　宇野浩二　一、〇〇
新井白石　上田萬年　一、二〇
大山元帥　西村文則　一、二〇
新書道の研究　上木村陶石　八五
死者生者　白鳥作　九五
實用書翰文　書翰文研究　六〇
處世訓話　和田垣博士　一、三五
朝鮮六法全書　巖松堂　一、八〇
民事訴訟法判決實例　同　三、〇〇
牛　岡本米藏　一、〇〇
朝鮮鑛業要覽　鑛業研究　一、二〇
高等文官受驗提要　巖松堂　四五
京城本町二丁目　電話二一六六番　振替京城二四五四番
巖松堂　京城本店　古市部　仁川店

朝鮮駐箚軍司令部　師團司令部　其他陸軍諸官衙御用達　軍隊用記一式販賣
京城府龍山漢江通八番地
Ⓢ安藤誠一
電話五三六番　振替請願中
軍人向の品物は何でもあります　御一報次第御送付致ます

御徳用堅薪新賣（入安）
カマドオンドロストーブ用
本月中十貫目に付金三拾錢
外に配達賃　五十貫以下十貫に付　五錢　五十貫　廿五錢　百貫　四十錢
龍山憲兵分遣所前通　龍山京町　安まき賣場
京城販賣申込所　京城南米倉町九十三番　佐藤平治

山縣五十雄　村上唯吉共著
富の道しるべ　假十五錢　郵税二錢
京城太平通　振替三〇〇番　京城日報社代理部

社告
京日案內廣告料金左之通り改正し大正六年一月一日より實行仕候
普通　三行一回　金前　五拾錢
番外　五行一回　金前　壹圓
匿名一回毎に拾錢增し無割引

京日案內
普通一回前金五十錢　番外一回前金一圓　匿名一回毎に拾錢增無割引
▲申込後中途掲載中止の節は料金返戻せず

普通
◉外交員募集　收益多大高尚簡易　旭町二ノ十九番地　鮮銀總裁邸上小路　大日本實用學會支部 87
◉電話の不用あり御希望の御方は本町一丁目五十一番地　千代田號　電話一三一八番 86
融通　月收の御方へ極秘迅速簡易立替御報伺又は御來談　京城大和町三ノ三二（病院前）旭木屋 84
◉人格高く風彩良き助手看護婦及會計係招聘　志望者本人直接來談あれ　古市町電車停留所前　岡崎病院 77
店員一名　十八九歳の者入用　名酒造に三年以上經驗あるもの　履歴男一人　龍山元町　呂山酒造場　電一五四番 79

番外
風彩良き男女外務員を募集す但し女は市內の婦人なれば確實なる保證人を要す男女共履歷書携帶來談あれ　京城長谷川町五十八番地　日本勸業銀行月賦販賣所編輯部 85

◉はねつき　うちみ　くじき　一切の治療御賴に應ず　明治町　柔術道場 1

京城春川間　乘合自働車　賃金片道四圓　京城發前八時　春川發前八時
◉京城水標橋通り　電話武壹參八番　京春自働車商會　支配人　松田壽男 2

◉京城春川間自働車賃金片道四圓　京城春川間午前八時卅分出發
◉南大門通一丁目　廣橋自働車　電話二一九番　主務　金正源 4組

恩給年金立替　利子年一割　即時取引退隱料一切千圓以上別契約　京城櫻井町（大正館向）元祖　博多屋本店 7

恩給年金長期　即時立替月利壹步二厘五毛 24　三年迄無保險　京城南大門外　西鮮支店京義線沙里院　山口屋　廣川商店

醇良淸酒
大阪府堺市　醸造發賣元　肥塚源次郎
京城本町二丁目　特約販賣店　佐藤牧太郎
同　本町三丁目　特約販賣店　明治屋支店

長壽靈品は「ヨーグルト」
荒井の牛乳　滋養と健康の母
京城若草町　荒井牛乳販賣部　電話一〇四番

最近奏效證明
證明書
發ニ於ケル朝鮮銀行大邱支店八號金庫ハ大正五年十二月十二日火災ニ罹リ猛火ニ包圍セラレタルモ格納セル書類金品等ハ毫モ損傷ナク貴店製金庫ノ優秀ナル性能ヲ確認シ之レヲ證明ス
大正五年十二月廿三日
朝鮮慶尙北道迎日郡
滄州面長印
特約販賣　大邱府村上町　松原米三郎

專賣特許　大谷金庫
まさかの時役に立つはこの金庫に限る
京都市松原通東洞院　大谷金庫本店　長電話下五三二番
大阪東區淀屋橋筋道修町北　大谷金庫支店

怒濤の月

小林蹴月作　武内桂舟畫

五十九　まがつみ「十二」の三

『阿兄さんさへ赦して下さるなら……』と絹代は、心から思ひ入つたやうに答へて、その下から直に、術なさゝうな溜息をつゞけた。

『……けれどもね、阿兄さん、何ぼ廣い東京だからと云つて、一生涯彼の鬼のやうな恐ろしい人達の眼を掠めて、阿兄さんと妾とで平和に暮して居られるやうな秘密な場所があるでせうか。譬へ、阿兄さんのお心では妾を赦して下さるお了簡でも、何時か一度吃度見付出される時があるには違ひなからうと思ひますの、阿兄さん心細い事を言ふやうですけれどもね、妾、寧そ死んで了ひたう御座いますわ』

『絹さん、そんな氣の狹い事を言ふもんぢやない。實の所、僕だつても今夜斯うして絹さんの顏を見るまでには、何度死んで了はうと思つたか知れやしないんだよ。いや、死ぬと云へば、絹さん、恐らくお前はまだ何にも知らんで居るでせうが、どうせ一度は、言つて聞かせて、涙の種を増させねばならぬ事件があるんです、お前、豫じめ肚胸を定めて、必ず……必ず、絶望はせんと云ふ誓ひを立てる事が出來るかね』

『そりや一牀、どんな事なんでせう矢張妾の身の上に關しての事で御座いませうか？』

『無論、お前の身の上に關はつてる事件さ。どうせ、知らさんでは濟まんこつたから僕は、思ひ切つて言ひますがね、絹さん、お前と云ふ人間は、よく〳〵不運……薄命の柄を握つて生れて來たもんだね。僕は、眞個お前に同情せずには居られないからこそ、今夜のやうな危險を冒してまでもお前を此處まで扶け出して來たんだがね』

幸三郎も、自と涙の聲を曇らせながら言ふのであつた。

『阿兄さん、妾の不運……薄命は、生れ落ちぬ先の世から附纏つて居るものと諦めて居るんで御座いますから、此の上、どんな不幸……どんな烈しい辛い悲い事件が、降つて湧いて來ませうとも、妾はもう〳〵、不運の神の掌に揉み碎かれて居るものと觀念して居ります、必ず取亂して、阿兄さんに御迷惑を掛けるやうな事は致しませんから、何卒有仰つて下さい』

『いやそれ丈の觀念があるなら、話を爲ますがね、絹さん、驚愕の餘り本統に精神を顛動させちや不可よ。實はね、お前の阿父さんは、昨夜市ケ谷附近の鐵道線路で轢死を遂げてお了ひになつたんだよ』

『ひえ、阿兄さん……倉橋の阿兄……そりや郎君、眞實のお話なんで御座いま……』

何ぼ、觀念を定めたとは云へ什うして是が吃驚せずに居られやう、什うして是が悲哀の涙を落さずに居る事が出來やう。絹代はよゝとばかり聲を發げて、掻き悶掻くやうに幸三郎の膝へ泣き崩折れて了つたのである

『無理はない、決して無理はない。泣くな甄くなと念を押す方の僕が、元來人情に缺けた話だが……此の上、お前に病氣でも重られて……と、氣遣つた餘りつい、餘計な念を押しても見たんです、絹さん、此處が所謂お互の運命と云ふもんだよ。然しだね、絹さん、今夜お前と僕とが、無事に追手にもかゝらず、此處まで落ち延びて來る事が出來たのは、眞個お前の阿父さんが自分の生命を犧牲に供して、僕とお前との爲めに手引を爲て下すつたのに相違ないんだ。泣いたつて笑つたつて、今更十萬億土の阿父さんが歸つて來られる譯はないから、もうその位で泣かずにおくれ、ね……、絹さん、女中でもやつて來ると、反つて又變に感じるからね』

幸三郎は、絹代の脊を撫で下すやうに慰藉の語の有らん限りを盡くすのであつた

『……泣きません。阿兄さん……もう泣きませんから、安心して下さいけれどもね、阿兄さん何ぼ生さぬ仲の阿母さんとは云ひながら、それほどの事を妾へ知らせて呉れないと云ふのは餘りと云へば、情ない仕方では御座いませんか。先刻此方まで來る途中、造兵廠の塀際で、さびしい棺桶に跟いて行く一人の男を見掛けた時、什うやら義弟の靏吉のやうに思はれてならなかつたんですが、今のお話をお聞きして見ると、彼れが確かに妾の阿父さんの入つてらつしやる棺桶だつたのです。阿兄さんおくればせかも知れませんが、妾は是から日暮里の火葬場まで驅け付けて阿父さんに一生の名殘を惜んで來たう御座いますから、それ丈の事を許して下さい』

絹代は、もう我を忘れて、起ち上りざま帶を引締めにかゝつた。

入院隨意　京城南大門通三丁目（櫻木商店横入る）
胃腸病院
院主　佐々木杏造　電話一六五九番

占に熱する英國婦人

世の中がどれほど文明に赴いても開化になつても、運命といふものが吾人を支配してをる間は迷信の絶ゆることはない。迷信の存するかぎり賣卜者は飯の種を失ふことはない。▲歐洲戰爭の勃發以來英國に於ても非常に迷信が流行し、爲に賣卜者の勢力が甚だ盛んなもので、透視、手相の觀察、星占、骨牌式占など種々あつて、澤山の手數料を取り未來の運勢を判斷して居るが其顧客は大部分軍人の細君である、これ等の婦人の中にはまるで醫師に通ふが如く戰地から手紙が來ると直樣賣卜者のもとに驅けつけ、何か未來の運勢が其文字の中に表はれてゐないかなど尋ねるものもあれば、自分の職業や家庭生活に何か吉兆がありはせぬかと折々相談に出かける者もある、其手數料の如きも隨分高いもので西部倫敦あたりでは一回の手相觀料が一磅一志（十圓五十錢）で透視占料が二磅二志（二十一圓）と云ふ相場である。又マンチエスター市の一婦人賣卜者の如きは中々の大繁昌でいつも自分の周圍に▲六七十人の軍人の細君連を控へ一人前二ペンス（八錢）宛で迅速に各人の運氣を占なつてゐる。勿論これなどはホンの出たらめばかりであるが、苦しい時の神だのみで何でも縋り付かねば安心が出來ぬところから高い手數料を出して見て貰ふ人もあるのである、ある婦人は其良人が水兵であつたが其將來を案じて占なつて貰つたら良人の乘船はやがて▲水雷で沈められる運命であるといふ判斷であつた。そこで其夫人は大に神經を惱まし早速良人のもとへ自分も子供も病氣だから一時も早く歸つて呉れと書いてやつた。水兵は直に願を出し、急いで歸つて見れば豈計らんや皆健全であつたので大に驚き且よろこんだといふことである

□寒句行（俳諧散心第二十六回　二日於木浦居）

鐵れ炭の行衛氣遣ふ寒かな　無骨
寒念に紛炭挾める眼鏡哉
スケートや今山に入る日を見つゝ　容堂
炭つぐや世か攻め來る我心
手の灯影至れば炭火生きにけり　北星
冬椿親しめば郷便大遊び去る
冬椿囲に雀捕る仕掛
問屋者の怒り炭火の如くあり
木日病崩れぬ炭やたつ根炭　青丘
孤女の家の紅は淋しき冬椿
スケートや見て立つ子の笑淋し
大まかに炭たく與夫や供待所　耕伯
夜學果てし萠弟炭火に寄りけり
露梢風げば船ある島の家　田打夫
あるときは炭にも涌ける悲しみよ
旭に向ひ旭に背く氷滑り
冬枯床の一軸なかりけり　木雨
寒さあまりにしたゝかに邪宿さす
突然に虎の毛皮に炭火飛ぶ

新刊紹介

▲青年團眞義　近時青年團體の勃興著しく世の識者亦挙つて其の發達を熱望しつゝあるに拘らず是が指導經營上の標準となるべきものなきを遺憾とし昨夏東京に青年團講習會を開きて中央官省及び地方の専門家二十餘名を講師とし青年團に關する有ゆる事項を講究せるが是般之を輯めて玆に本書の出版を見るに至れり五編二十章百數十項目に亙り國家の實験談十餘項及び小松原英太郎氏の帝國青年の使命水野錬太郎氏の指導者と被指導者の二編行文平易簡明懇切網羅し之れ青年必讀必須の好文字にして又青年團組織經營上の良指導者たるを失はず（菊版約五百頁一圓東京市麹町區内幸町一の四青年團中央部帝國青年發行所）

▲經世（新年號）　青年團體の發達を圖り其の共同機關たるを以て任じ政治法律經濟其他社會事物の學術的智識に關するものを平易に説述して常識養成の資料に供せんとせるもの日本第一主義（河野元三）町村制解釋（武藤鍵蔵）農産製造法（長崎發生）小學教育改革論（前田三遊）等見るべし（十三錢東京市芝區田村町（其社）

◎村井弦齋先生の發見藥　タラコン湯は胃腸病等に奏効があるので内地は勿論南洋北米等に需用が多いさうです本舗は東京小石川無量寮藥園で傳法の老醫と帝大の醫學士京大の工學士が製藥を監督して居られます

◎中央工學校（生徒募集）　東京神田仲猿樂町五同校に於ては來る三月七日新學期始業（機械、電氣、建築、土木本科及び（高等科）に付出願者は二月中に申込るべし（小學卒業は一期無試驗）規則入用は郵券を送れば送呈する由

商況

大阪三品特電
三月限　一七八・…
四月限　一七…
五月限　一七〇・五〇　一七一・三〇

下關期米特電
▲二十四日…　兵庫後場十六圓十九錢…
…は未だ展開する…なく大阪の不勢を受けた…案外買り込み來る手口なく一面…より差値の買…するならんと思はれる…

市場の手振

▲現物界

資本金參百萬圓
明治四十三年八月設立
當銀行ハ預金、貸金、爲替等ノ一般銀行業務ヲ確實親切ニ取扱申候
京城府南大門通二丁目十四番地
株式會社漢城銀行
長　李允用
專務取締役　韓相龍
電話一六四六番・三九番　振替京城二一六二番
支店所在地　水原、平壤、大田、開城
出張所所在地　南大門、鍾路、東幕

イケダ小兒病内科醫院
池田李雄
京城三越呉服店前（入る旭町四丁目）電話（醫院）一三三四番（自宅）八八〇番

胃腸病と其療法
村井弦齋先生發見
人の胃腸は假令ばゴムの様なもので平素よく緊つて居ますが、食物が這入ると幾位でも伸びて膨れ、食物が胃腸に在る間は縮んで又伸びては縮み縮みては又伸び、所謂蠕動を起して食物を下に送るのです然るに餘り胃腸を使ひ過すと其節が衰弱して伸び縮む力が弱くなります、之が醫者のアトニーと名ける病氣で胃腸に食物が滯り腹が脹れ腹が張り重苦しく心悪く噯氣を起し又は所謂ゲーブが出て腹が鳴り筋が張り痛みが起り食物が滅じ叉は下痢を起し便秘となり胃は布袋の様に擴がつたよ、緊まる力がなくなり胃に粘液が溜り其他色々の病状を起します、之が西洋の此病氣の無い日本人でも食物が胃に滯積し胃が擴張して中に色々の毒物が發酵するもので胃の惡い人は何時も胃が張つて居ます何しろ胃筋が衰弱したのですから如何なる名藥でも治る道がないのです然るに村井弦齋先生發見のタラコンは胃腸の筋を引締め消化作用を助け輸送機能を活潑にしますから、食物が胃に停滯しません、其證據は胃を洗滌すれば明かに實見するとが出來て胃腸のアトニー胃擴張に有効なるばかりでなくタラコンの一種峻烈なる刺戟は胃腸に生じた粘液の如き異性物を溶解しますから胃酸過多胃潰瘍其他如何なる胃腸病にも顯效卓効あることは幾萬千の實驗者に依つて證明せられて居ます、背は之を服すれば子を有する二十人者を得ること三百歳と稱し茲に補精の強壯藥として出たのであります、◎タラコン散二十八回分入五十錢六十回分入一圓二十錢◎タラコン湯一週間分一圓送料六錢二週間分一圓九十錢送料川錢◎發賣本舗東京市小石川區下富坂町二〇（電話番町四一三八振替東京一〇〇二二）◎朝鮮總督府藥種商許可眞価販賣所

アドラ
七日ツタタラ鏡をどうん色白くなるダンソ液
小壜二十錢　徳用四十錢
今東京で大評判の元素液色黒き顏赤き顏日ヤケおしろいヤケ、アレを防ぎキメをコマカに眞に色白く美人美男子となる全國の藥店小間物化粧品店にあり近所に品切の時は切手代用御送附あれば送品す　送料内地八錢
東京神田和泉橋際　松本藥店

眼科大醫にして高峰博士發見のアドリナリンを點眼料に處方せざるものなし
アドラは一流大家の點眼料と等しきアドリナリン配合の眼病神藥なり
定價　大瓶金貳拾五錢　小瓶金拾錢
市内及全國有名藥舗にて販賣す
東京室町　泰昌製藥株式會社

髮手人は一度で忽ち漆の黒さとする
髮の良き人には愈良く惡き人
植物性美　毛劑加味
▲國產純良の椿油を以て精製したる佳品にして、毛髮の色艶發育をよくし、クセ毛を直し、頭垢を去り香ひ好にして從來一品もなき優良毛香油
定價　徳用瓶卅五錢　小瓶廿錢（送料内地當店負擔、滿鮮卅錢）
ホーカー美髮液
ホーカー發賣元　東京和泉橋　堀越藤太郎商店　振替東京一五六

最上醬油
朝鮮仁川港
高杉醬油釀造場

冩眞
寫眞用具撮影
寫眞銅版、亜鉛凸版
京城日報社寫眞製版部

瓢水味淋
堺　鳥井藤藏
專賣店　京城本町二丁目　前田酒店

賀化病院
京城本町二丁目
電話二四一番
内科　小兒科
入院隨意
毎日五名を限り無料施療す
醫學博士　古城憲治
醫學士　上野亮藏

りん病　ばい毒
請合藥
京城南大門外停車場通り　大阪ドラッグ商會滿鮮本部
詳細ハ昨日ノ本紙ヲ御覽に廿物アリ御注意

金泉鷺泉間自動車時間
金泉織居自動車支部

大邱浦項間自動車時間
大塚農場自動車部　大邱出張所

日本郵船出帆　仁川
尼崎汽船出帆　仁川
共同汽船出帆　仁川
共同丸　一月廿二日午後入港
本町四丁目　野口商會　電話一七三番

大阪商船出帆　仁川
汽船釜山出帆廣告

朝鮮郵船出帆
本社　京城南大門　電話一九五二・一九三一番
京城荷客取次店　松原運送店（電話一七〇七）

大阪商船出帆

船名	行先	出帆日時
群山丸	神戸、大阪行	一月廿七日午五時出帆
天草丸	群山、木浦、釜山、門司、神戸	一月廿八日後五時出帆
山陽丸		二月八日
安東丸	大阪行	二月　日後五時出帆
木浦丸	釜山、巨濟、統營	二月四日正午出帆
信濃川丸		一月十日後二時出帆
釜山丸	長崎行	一月十一日後二時出帆
信濃川丸	大連行	二月十六日正午出帆
湖南丸		一月五日正午出帆
大連丸	直行	二月二日正十二時出

汽船釜山出帆廣告

船名	行先	出帆日時
立神丸	門司、神戸、大阪行	月　日後五時出帆
小倉丸		月　日後五時出帆
元山丸	西湖津、浦鹽行	月　日後十時出帆
小倉丸		月　日後四時出帆
元山丸	西湖、新浦、城津、清津行	月　日後六時出帆
第三琴平丸	門司、宇品、神戸、大阪行	月　日後六時出帆
天草丸	佐須奈、嚴原、壹岐、博多行	毎月二日九日十四日廿一日廿六日午後十時出帆

朝鮮郵船出帆

船名	出帆日	發港
金剛丸	二月四日	元山發
京城丸	二月十三日	釜山發
咸鏡丸	一月廿九日	釜山發
成鏡丸	二月九日	
穩城丸	一月廿九日	元山發
昌平丸	一月廿六日	
鏡城丸	二月二日	
昌寧丸	一月廿五日	元山發
德興丸	一月廿七日	釜山發
江陵丸	毎日	浦項發
襄陽丸		
三浦丸	一月廿八日	釜山發
統營丸	毎日	釜山發
巨濟丸		
平壤丸	月　日	元山發
順天丸	三日目毎	木浦發
慶興丸	一月廿七日	木浦發
慶興丸	二月六日	木浦發
公州丸	一月廿六日	木浦發
江原丸	月　日	仁川發
晋州丸	一月十九日	仁川發
麗水丸	一月廿五日	仁川發
全州丸	一月廿七日	仁川發
錦江丸	毎日午前	仁川發